

平成 28 年度

年 報

朝日町教育文化施設

(朝日町歴史博物館・あさひライブラリー)

は じ め に

朝日町教育文化施設は、朝日町の情報発信の場として、また生涯学習の拠点として毎年多くの方々にご利用をいただいております。

平成 28 年度は、博物館企画展として「歴史に見る自己～表現のかたち～」、「むかしむかしー歴史と伝説ー」を開催しました。他にも「食から見た三重の歴史・文化」をテーマとして文化教養講座を開催いたしました。

図書館では、毎年恒例の「手作り絵本教室」「映画会」「雑誌リサイクル会」など様々な事業を実施し、多くの皆様にご参加いただきました。また、読み聞かせボランティア「がけやま」、「ぽかぽか絵本」による絵本の読み聞かせ、「フォンターナ」によるストーリーテリングもご好評をいただき、図書館運営の重要な役割を担っていただいております。

今後も当館におきましては、皆さまによりこばれる企画を実施し、住民サービスの向上に努めるよう運営を行っていきたいと考えております。

平成 29 年 8 月

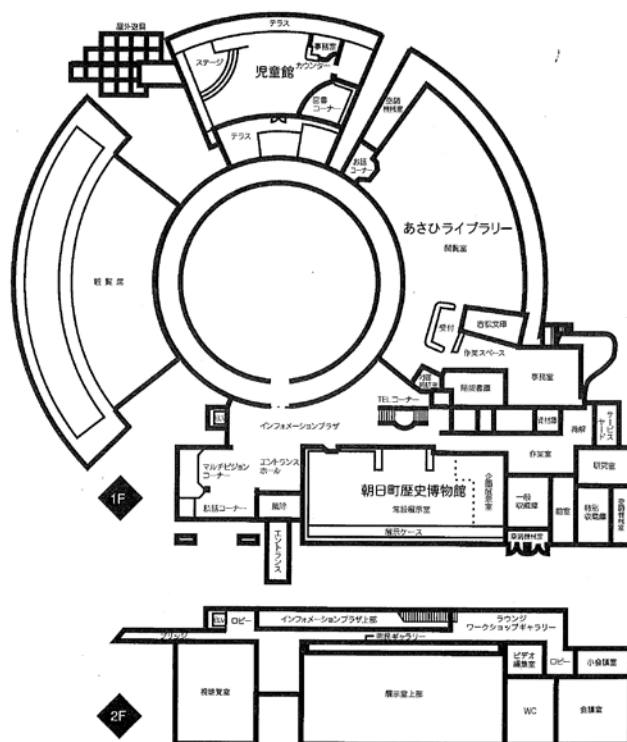
朝日町教育文化施設館長

目 次

はじめに	1
I 施設の概要	3
II 朝日町歴史博物館	4
(1) 事業概要	
1. 常設展示 2. 文化教養講座（講演会） 3. 企画展 4. 古文書学習会	
5. 俳句作品展 6. 子ども体験博物館 7. 子ども学校 8. 刊行物	
9. 地方創生加速化交付金事業	
(2) 資料の収集と保存	
1. 購入資料 2. 寄贈資料 3. 寄託資料 4. 寄託解除	
5. 寄贈図書 6. 収蔵資料の貸出 7. 収蔵資料等の特別利用	
III あさひライブラリー	18
(1) 事業概要	
1. 手作り絵本教室 2. 工作教室 3. 成人向け教室 4. おはなし会	
5. ストーリーテリング 6. 映画会 7. 上映会 8. ブックトーク	
9. 子ども読書週間 10. 夏休み宿題サポートコーナー	
11. 子ども司書養成講座 12. わたしのまちの情報コンシェルジュ	
13. 普通救命講習 14. 5（Go!）スタンプラリー	
15. 雑誌・図書リサイクル会 16. めいぐるみおとまり会	
17. 地方創生事業	
(2) 利用状況	
IV 諸統計	28
(1) 施設利用状況	
(2) 経費と組織	
(3) 日誌抄	
V 運営協議会	30
VI 関係法規	31

I 施設の概要

構 造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造	
敷地面積	13,700 m ²	
延床面積	教育文化施設	1,917 m ²
	1 F	1,478 m ²
		博物館展示室 (274 m ²)
		図書館閲覧室 (418 m ²)
		事務室 (93 m ²)、収蔵庫 (86 m ²)
		マルチビジョンコーナー、談話コーナー
		閉架書庫、研究室、荷解作業室
	2 F	439 m ²
		視聴覚室 (88 m ²)、会議室 (71 m ²)
		小会議室、ワークショップギャラリー
		町民ギャラリー
	児童館	247 m ²
	1 F	196 m ²
	2 F	51 m ²
施設概要	電 気：受変電設備／三相3線6.6kv、設備容量300kVA 他	
	給排水：給水／直圧式 排水／屋内分流、直接放流	
	空 調：空冷ヒートポンプチラー 236kw×1台	
	空冷チラー 5RT×1台 (収蔵庫)	
	単一ダクト＋ファンコイルユニット、空冷ヒートパッケージ方式、中央監視制御設備	



II 朝日町歴史博物館

(1) 事業概要

1. 常設展示

当館では、朝日町が辿ってきた歴史の「道」をテーマに、各時代の朝日町の様子を中央屋台に展示解説し、展示室側面には「縄生廃寺三重塔模型」を中心に「縄生廃寺」の展示を行い、展示室を構成しています。また、展示室壁面ケースには、朝日町ゆかりの文化人として「橘守部」「森有節」「栗田真秀」「水谷立仙」「中村古松」を取り上げ、毎月展示替を行っています。

4 月	新収蔵品	・古萬古 色絵小皿 ・雪水軒茶静編『俳諧職業尽』 ・栗田真秀画「陶弘景聴箏図」 ・栗田真秀画「日の出猪之絵」 ・栗田真秀画「寿老人」 ・栗田真秀画「観世音菩薩之絵」
	江戸時代の本草学	・岡本一抱撰『和語本草綱目』 ・岡元鳳撰『毛詩品物図考』 ・西村廣休著『小品考』 ・小幡篤次郎訳『博物新編補遺』
	萬古焼	・有節萬古 青磁卍文蓋物 ・有節萬古 色絵白魚文蓋物 ・有節萬古 色絵オランダ写花瓶
5 月	橘守部	・橘守部著『萬葉集緊要』 ・『萬葉集緊要』 版木 ・橘守部筆「金戸田之」詠草 ・橘守部筆「御園に」詠草 ・橘守部筆「わかやまひ」詠草 ・大友義左衛門保定筆「入門誓紙」 ・「橘守部墓碑拓本」
	浮世絵師 溪斎英泉	・溪斎英泉画「〔美人画〕」 ・溪斎英泉画「〔天神図〕」 ・曲亭馬琴作、溪斎英泉画『南総里見八犬伝』 第五・六輯 ・為永春水作・溪斎英泉画『処女七種』 初・二編 ・為永春水作・溪斎英泉画『春色袖之梅』 三編 ・溪斎英泉画『浮世画譜』 初・二編 ・緑亭川柳撰、溪斎英泉画『画本柳樽』 三編 ・為永長次郎作、溪斎善次郎画『意見早引大善節用』 ・細川並輔校合、池田善次郎画『隅田川往来』
	萬古焼	・有節萬古 青磁卍文蓋物 ・有節萬古 色絵白魚文蓋物 ・有節萬古 色絵オランダ写花瓶
6 月	橘守部	・橘守部著『萬葉集緊要』 ・『萬葉集緊要』 版木 ・橘守部筆「金戸田之」詠草 ・橘守部筆「御園に」詠草 ・橘守部筆「わかやまひ」詠草 ・大友義左衛門保定筆「入門誓紙」 ・「橘守部墓碑拓本」
	浮世絵師 溪斎英泉	・溪斎英泉画「〔美人画〕」 ・溪斎英泉画「〔天神図〕」 ・曲亭馬琴作、溪斎英泉画『南総里見八犬伝』 第五・六輯 ・為永春水作・溪斎英泉画『処女七種』 初・二編 ・為永春水作・溪斎英泉画『春色袖之梅』 三編 ・溪斎英泉画『浮世画譜』 初・二編 ・緑亭川柳撰、溪斎英泉画『画本柳樽』 三編 ・為永長次郎作、溪斎善次郎画『意見早引大善節用』 ・細川並輔校合、池田善次郎画『隅田川往来』
	萬古焼	・古萬古 赤絵草花文振出 ・有節萬古 赤絵楓文巾筒 ・有節萬古 象耳赤絵山水文花瓶
7 月	旅する人々、その歴史	・『改訂新版鉄道旅行図』 ・フィルムカメラ ・橘守部著『土佐日記舟の直路』 ・「芭蕉像」 ・斎藤拙堂著『月瀬記勝』 ・「東海道五十三次」 ・行李 ・矢立 ・煙草入れ ・十辺舎一九著『東海道中膝栗毛』
	萬古焼	・古萬古 赤絵草花文振出 ・有節萬古 赤絵楓文巾筒 ・有節萬古 象耳赤絵山水文花瓶
8 月	旅する人々、その歴史	・『改訂新版鉄道旅行図』 ・フィルムカメラ ・橘守部著『土佐日記舟の直路』 ・「芭蕉像」 ・斎藤拙堂著『月瀬記勝』 ・「東海道五十三次」 ・行李 ・矢立 ・煙草入れ ・十辺舎一九著『東海道中膝栗毛』
	萬古焼	・有節萬古 腥膻脂釉菓子器 ・有節萬古 腥膻脂釉飯茶碗 ・有節萬古 青磁草花文煎茶器
9 月	栗田真秀	・栗田真秀画「月秋草図」 ・栗田真秀画「水辺三日月図」 ・栗田真秀画「月紅葉山水図」 ・栗田真秀画「猩猩図」 ・栗田真秀画「紅葉図」 ・栗田真秀画「山水図」 ・栗田真秀画「雅楽人図」 ・栗田真秀画「鶴飼図」
	江戸時代 医学	・大江匡弼編『増補呪詛調法記大全』 ・一交斎幾丸画「うさぎのはしか退治」 ・「痘瘡見舞帳」 ・本郷正豊編『医道日用重宝記』・水野義尚編『朱雀経験 養生辨 後編』 ・水谷立仙画「本居宣長像」 ・橘守部筆『箱根日記』 草稿
10 月	萬古焼	・有節萬古 腥膻脂釉菓子器 ・有節萬古 腥膻脂釉飯茶碗 ・有節萬古 青磁草花文煎茶器
	栗田真秀	・栗田真秀画「大滝図」 ・栗田真秀画「水辺三日月図」 ・栗田真秀画「月紅葉山水図」 ・栗田真秀画「猩猩図」 ・栗田真秀画「紅葉図」 ・栗田真秀画「山水図」 ・栗田真秀画「雅楽人図」 ・栗田真秀画「鶴飼図」
	江戸時代 医学	・大江匡弼編『増補呪詛調法記大全』 ・一交斎幾丸画「うさぎのはしか退治」 ・「痘瘡見舞帳」 ・本郷正豊編『医道日用重宝記』・水野義尚編『朱雀経験 養生辨 後編』 ・水谷立仙画「本居宣長像」 ・橘守部筆『箱根日記』 草稿
11 月	萬古焼	・有節萬古 小向神社棟込瓦 ・有節萬古 雪輪赤絵菓子器 ・有節萬古 赤絵山水文菓子器
	平成 28 年度朝日町歴史博物館企画展 「歴史にみる自己～表現のかたち～」 会期：平成 28 年 10 月 29 日(土)～11 月 27 日(日)	
12 月	水谷立仙	・水谷立仙画「牡丹図」 ・水谷立仙画「鶏図」 ・水谷立仙画「親鸞上人日野家宿泊之図」 ・水谷立仙画「鶴図」 ・水谷立仙画「十界図」 ・水谷立仙画「鍾馗図」
	戯作者 山東京伝	・山東京伝作・画『繁千語』・山東京伝作『復讐奇談安積沼』・山東京伝作『優曇華物語』 ・山東京伝作『昔話稲妻表紙』 ・山東京伝作『本朝醉菩提全伝』 ・山東京伝作『双蝶記』 ・山東京伝作『女達磨之由来文法語』・山東京伝作『近世奇跡考』・山東京伝作『骨董集』
	萬古焼	・有節萬古 小向神社棟込瓦 ・有節萬古 雪輪赤絵菓子器 ・有節萬古 赤絵山水文菓子器
1 月	水谷立仙	・水谷立仙画「牡丹図」 ・水谷立仙画「鶏図」 ・水谷立仙画「親鸞上人日野家宿泊之図」 ・水谷立仙画「鶴図」 ・水谷立仙画「十界図」 ・水谷立仙画「鍾馗図」
	戯作者 山東京伝	・山東京伝作・画『繁千語』・山東京伝作『復讐奇談安積沼』・山東京伝作『優曇華物語』 ・山東京伝作『昔話稲妻表紙』 ・山東京伝作『本朝醉菩提全伝』 ・山東京伝作『双蝶記』 ・山東京伝作『女達磨之由来文法語』・山東京伝作『近世奇跡考』・山東京伝作『骨董集』
	萬古焼	・古萬古 魚形赤向皿 ・有節萬古 青磁七宝文手焙 ・天神萬古 桜銀杏青紅葉文白磁手焙

平成 28 年度朝日町歴史博物館企画展 「むかしむかし—歴史と伝説—」 会期：平成 29 年 1 月 14 日(土)～2 月 12 日(日)		
2 月	画僧月僊	・月僊「群仙観月図」
	中村古松	・巖谷小波「秋一つ艸をはなれぬ蝶々かな」・巖谷小波「笠の数伊勢へ伊勢へと霧みけり」 ・松島十湖「水に輪をつゝる柳の雫かな」・松島十湖「三人のひとりは寝たり花に雨」 ・坪田案雄「鳳輦の御幸もありて桐の花」・坪田案雄「月に花契りも深き例かな」 ・千葉兎月「宿取って門へ捨るや笠の雪」・杉本幽鳥「降ること知らざる如し遠き風」 ・杉本幽鳥「森の上に一夜を経たる祭幟」・倉田行人子「土が息する竹落葉掃くべかり」 ・倉田行人子「道は無限のしばらくはゆく緑陰」
	萬古焼	・古萬古 魚形赤向皿 ・有節萬古 青磁七宝文手焙 ・天神萬古 桜銀杏青紅葉文白磁手焙
3 月	画僧月僊	・月僊「群仙観月図」
	中村古松	・巖谷小波「秋一つ艸をはなれぬ蝶々かな」・巖谷小波「笠の数伊勢へ伊勢へと霧みけり」 ・松島十湖「水に輪をつゝる柳の雫かな」・松島十湖「三人のひとりは寝たり花に雨」 ・坪田案雄「鳳輦の御幸もありて桐の花」・坪田案雄「月に花契りも深き例かな」 ・千葉兎月「宿取って門へ捨るや笠の雪」・杉本幽鳥「降ること知らざる如し遠き風」 ・杉本幽鳥「森の上に一夜を経たる祭幟」・倉田行人子「土が息する竹落葉掃くべかり」 ・倉田行人子「道は無限のしばらくはゆく緑陰」
	萬古焼	・古萬古 赤絵更紗文銚子 ・有節萬古 黒楽茶碗 ・急須木型 ・有節萬古使用土型 ・有節萬古使用薬研 ・有節萬古使用乳鉢 ・有節萬古使用金秤

2. 文化教養講座（講演会）

博物館事業の一環として、文化教養講座と題して講演会を行っています。今年度は、「食から見た三重の歴史・文化」をテーマに開催しました。

◇第 1 回

日時：平成 28 年 8 月 27 日（土）14:00～15:30

講師：大川吉崇 氏（大川学園理事長）

演題：「映像でみる三重の食」

参加人数：20 名

◇第 2 回

日時：平成 28 年 11 月 12 日（土）14:00～15:30

講師：門口実代 氏（三重県総合博物館）

演題：「お雑煮にみる三重の食文化の多様性」

参加人数：25 名



第 1 回の様子

◇第 3 回

日時：平成 29 年 2 月 4 日（土）14:00～15:30

講師：榎村寛之 氏（斎宮歴史博物館）

演題：「斎宮と平安時代の食文化」

参加人数：29 名



第 2 回の様子



第 3 回の様子

3. 企画展

◇「歴史にみる自己～表現のかたち～」

歴史にあらわれた「自己」に着目し、近代以前の歴史資料や絵画・文学等に表現されている自己の形を展示解説しました。

歴史文化を伝える文化財の一端とその魅力を紹介し、歴史に対する地域住民及び来館者への理解に資する契機となることを目的として開催しました。

＜展示構成＞

- (1) 文字にあらわれた自己
- (2) 自己のかたち

会 期：平成 28 年 10 月 29 日（土）～11 月 27 日（日）30 日間（開館日 24 日）

関連事業：記念講演会

日 時：平成 28 年 11 月 5 日（土）14：00～15：30

演 題：「鏡を見る宣長―本居宣長の自画自賛像―」

講 師：吉田悦之氏（本居宣長記念館館長）

参加人数：25 名

入館料：無料

刊行物：ポスター、チラシ、図録

入館者数：1,035 名



会場の様子



記念講演会の様子



見学の様子



見学の様子

「歴史にみる自己～表現のかたち～」展示品一覧

	資 料 名	作者/編著者	年代	員数	所 蔵 先	備考
1	木造初代森有節自刻像	初代森有節作	明治 11 年	1 軀	館蔵（寄託資料）	朝日町指定有形文化財
2	『大和物語』（版本）		慶安元年刊	2 冊	斎宮歴史博物館蔵	
3	伊達村候自画像	伊達村候筆	江戸時代	1 幅	宇和島伊達文化保存会蔵	
4	本居宣長四十四歳自画自賛像	本居宣長筆	安永 2 年	1 幅	本居宣長記念館蔵	重要文化財
5	本居宣長六十一歳自画自賛像	本居宣長筆	寛政 2 年	1 幅	本居宣長記念館蔵	重要文化財
6	僧形立像（月僊自画像）	月僊筆	江戸時代	1 幅	三重県立美術館蔵	
7	松平定信自画像	松平定信筆	天明 7 年	1 幅	鎮國守國神社蔵	三重県指定有形文化財
8	紙本墨画自筆獄廷素描及び記録	渡辺崋山筆	天保 10 年または同 11 年	1 幅	田原市博物館蔵	重要文化財
9	『知床日誌』（版本）	松浦武四郎著	文久 3 年刊	1 冊	松浦武四郎記念館蔵	重要文化財
10	武市瑞山獄中自画像（複製）	武市瑞山筆	元治元年	1 幅	佐川町立青山文庫蔵	
11	『古今和歌集仮名序』（折本）		江戸時代	1 帖	館蔵（寄託資料）	
12	『古今和歌集』（写本）		江戸時代	1 冊	津市津図書館蔵	
13	『万葉集』（版本）		寛永 20 年	9 冊 (20 冊の内)	津市津図書館蔵	
14	『類題和歌集』（版本）	後水尾天皇勅撰	元禄 16 年	2 冊 (31 冊の内)	館蔵（寄託資料）	
15	『怜野集』（版本）	清原雄風撰	文化 3 年	1 冊 (12 冊の内)	館蔵（寄託資料）	
16	『松浦武四郎印譜』			1 冊	松浦武四郎記念館蔵	三重県指定有形文化財
17	印章「馬角斎印」（松浦武四郎使用）	松浦武四郎作	明治	1 顆	松浦武四郎記念館蔵	重要文化財
18	印章「馬角斎印」（松浦武四郎使用）	富岡鉄斎作	明治	1 顆	松浦武四郎記念館蔵	重要文化財
19	塩松紀行詩十二首図巻	松浦武四郎ほか筆	明治 8 年	1 巻	松浦武四郎記念館蔵	重要文化財
20	『日本書紀』（版本）	舎人親王・太安万侶ほか編	文政 13 年刊	3 冊	斎宮歴史博物館蔵	
21	『続日本紀』（版本）	菅野真道・藤原経縄ほか編	明暦 3 年刊	3 冊	斎宮歴史博物館蔵	
22	『日本書紀通證』（版本）	谷川士清著	宝暦 12 年	3 冊	斎宮歴史博物館蔵	
23	『稜威道別』（写本）	橘守部著	嘉永 5 年	3 冊 (13 冊の内)	個人蔵	
24	文化二年三月五日付平田篤胤筆 本居健亭（春庭）宛書簡	平田篤胤筆	文化 2 年	1 幅	本居宣長記念館蔵	
25	入門誓紙	大友義左衛門筆	天保 12 年	1 幅	館蔵	
26	三月九日付松浦熙筆 橘守部宛書簡	松浦熙筆	江戸後期	1 巻	館蔵	

◇「むかしむかしー歴史と伝説ー」

伝説や昔話といったものには、しばしば地域の歴史や風土が織り込まれています。本展示ではこのようなく伝説に垣間見える歴史>に焦点をおき、地域史や類似する伝説に関する資料、および口承文学の収集・記録に関する古典籍などを紹介しました。展示を通して時代の流れとともに忘れられつつある地域の伝説に目を向け、自分たちの住む町の歴史や文化への理解に資する契機となることを目的として開催しました。

<展示構成>

- (1) 朝日の伝説
- (2) 伝説の背景ー中世日本と北伊勢ー
- (3) 物語化する歴史
- (4) 伝説の収集
- (5) 「物語」の結末

会 期：平成 29 年 1 月 14 日（土）～2 月 12 日（日）30 日間（開館日 24 日）

関連事業 1：担当学芸員による展示解説会

第 1 回：平成 29 年 1 月 22 日（日）14：00～14：30

参加者：50 名

第 2 回：平成 29 年 2 月 12 日（日）14：00～14：30

参加者：35 名

関連事業 2：子ども向けワークシート

参加者：177 名

関連事業 3：記念講演会

日 時：平成 29 年 1 月 29 日（日）14：00～15：30

演 題：「関ヶ原・大坂の陣と真田」

講 師：降幡浩樹氏（真田宝物館）

参加人数：108 名

入館料：無料

刊行物：ポスター、チラシ、パンフレット

入館者数：1,797 名



展示説明会の様子



講演会の様子

「むかしむかしー歴史と伝説ー」展示品一覧

	資 料 名	作者/編著者	年代	員数	所 蔵 先	備 考
1	「三重県における金鶏伝説地 (草稿本)」	鈴木敏雄	昭和 35 年	1 冊	皇學館大学研究開発推進 センター史料編纂所蔵	
2	「金のとり塚」	鈴木敏雄	昭和 26 年	1 綴	皇學館大学研究開発推進 センター史料編纂所蔵	
3	『桑名御領分古城跡之図』			1 冊	個人蔵	
4	柿城跡出土遺物			1 括	館蔵	
5	『勢陽五鈴遺響』	安岡親毅	明治 16 年刊	11 巻 11 冊	館蔵（寄託資料）	
6	『大吉天満宮納帳』		永禄 8 年	1 冊	館蔵（寄託資料）	朝日町指定 有形文化財
7	織田信長制札		永禄 10 年 9 月	1 枚	個人蔵	
8	羽柴秀吉書状		(天正 11 年) 5 月 13 日	1 幅	個人蔵	
9	羽柴秀吉朱印状		(天正 12 年) 10 月 28 日	1 幅	個人蔵	
10	羽柴秀吉朱印状		(天正 12 年) 11 月 6 日	1 通	たつの市立龍野歴史文化資料 館蔵	
11	羽柴秀吉朱印状		(天正 12 年) 11 月 12 日	1 通	たつの市立龍野歴史文化資料 館蔵	
12	関ヶ原合戦布陣図			1 舗	個人蔵	
13	出土銭			1 括	崇徳寺蔵	
14	『雑兵物語』		弘化 3 年刊	2 巻 2 冊	西尾市岩瀬文庫蔵	
15	小判			一括	長浜市長浜城歴史博物館蔵	
16	『豊秋雑筆』巻二	角屋吉兵衛	天保 10 年～ 天保 13 年	1 冊	鎮國守國神社蔵	
17	『豊秋雑筆』巻四	角屋吉兵衛	弘化 4 年～ 嘉永 3 年	1 冊	鎮國守國神社蔵	
18	『絵本太閤記 二編』	武内確斎作 岡田玉山画	寛政 10 年刊	12 冊	館蔵（寄託資料）	
19	「新撰太閤記」	歌川豊宣	明治	2 枚続	個人蔵	I 期
20	「新撰太閤記」	歌川豊宣	明治	2 枚続	個人蔵	II 期
21	有節萬古 織部写丸小皿	森有節		10 枚	館蔵（寄託資料）	
22	『皿屋敷浮名染着 下編』	曲亭馬琴作 鳥居清峯画	文化 11 年刊	1 冊	館蔵（寄託資料）	
23	真田信繁書状		2 月 8 日	1 巻	館蔵（寄託資料）	
24	「大坂平野合戦真田幸村地雷 火をもつて関東の大軍を破 る」	歌川芳虎	明治	3 枚続	個人蔵	I 期
25	「家康大仁村難戦之図」	楊斎延一	明治	3 枚続	個人蔵	II 期
26	「織田信長公清須城修繕御覽 之図」	歌川芳藤	明治	3 枚続	個人蔵	I 期
27	「尾州大高兵糧入図」	大蘇芳年	明治	3 枚続	個人蔵	II 期
28	「本能寺焼討之図」	楊斎延一	明治	3 枚続	個人蔵	I 期

	資 料 名	作者/編著者	年代	員数	所 蔵 先	備考
29	「小牧山両将軍大合戦之図」	歌川芳虎	明治	3 枚続	個人蔵	Ⅱ 期
30	『日本霊異記』（版本）	景戒	正徳 4 年刊	3 巻 1 冊	西尾市岩瀬文庫蔵	
31	『今昔物語』（版本）	井沢長秀（蟠龍）校訂	享保 5 年刊	2 冊（30 巻 10 冊中）	西尾市岩瀬文庫蔵	
32	『日本伝説集』	高木敏雄	大正 2 年刊	1 冊	個人蔵	
33	『遠野物語 増補版』	柳田國男	昭和 10 年発行	1 冊	個人蔵	
34	「三重軒考古輯録 伊勢地域（ノート） 第四 桑名郡在良村・桑名市西部・員弁郡星川・三重郡朝日村」	鈴木敏雄		1 冊	皇學館大学研究開発推進センター史料編纂所蔵	
35	『宇治拾遺物語』（版本）		万治 2 年刊	1 冊（15 巻 16 冊中）	西尾市岩瀬文庫蔵	
36	『豊秋雑筆』巻三	角屋吉兵衛	天保 14 年～弘化 3 年	1 冊	鎮國守國神社蔵	
37	唱歌「花咲翁」レコード			1 枚	個人蔵	
38	桑名城下町遺跡出土遺物			1 括	桑名市蔵	
39	朝日町資料館出土遺物			1 括	館蔵	
40	縄生庵寺出土 塔心礎納置品			1 括	文化庁蔵	国指定重要文化財

4. 古文書学習会（初級編）

「古文書に親しみたい」「古文書を少しでも読めるようになりたい」という方を対象に学習会を開催しました。

開 催 日：平成 28 年 4 月 26 日（火）、6 月 21 日（火）、8 月 16 日（火）
10 月 4 日（火）、12 月 13 日（火）、平成 29 年 2 月 7 日（火）（合計 6 回開催）
※時間は全て 14：00～15：30

場 所：視聴覚室

参加人数：第 1 回…20 名、第 2 回…19 名、第 3 回…16 名
第 4 回…12 名、第 5 回…13 名、第 6 回…13 名

5. 俳句作品展「未来の俳人たち」

朝日中学校 3 年生・小学校 6 年生の俳句作品の展示を教育文化施設のインフォメーションプラザで行いました。

◇朝日中学校 3 年生【99 名】

期間：平成 28 年 6 月 21 日（火）～7 月 17 日（日）

◇朝日小学校 6 年生【174 名】

期間：平成 29 年 1 月 24 日（火）～2 月 19 日（日）



俳句作品展の様子
（朝日小学校 6 年生）

6. 子ども体験博物館「昔のメモ帳づくり」

夏休み子ども向けの教室として、メモ帳づくりをとおして昔の本（和本）に興味を持つよう教室を実施しました。

対 象：小学校 5・6 年生
日 時：平成 28 年 8 月 26 日（金）
10：00～12：00
場 所：視聴覚室
参加者：3 名



子ども体験博物館の様子

7. 子ども学校（ウォークラリー）

朝日町教育文化施設を起点として、徒歩で町内の史跡・文化財などに関係する場所を訪れキーワードを探します。町内を散策しながら町の史跡・文化財などに親しむ機会を提供しました。（教育委員会生涯学習室との共催）

日 時：平成 29 年 2 月 11 日（土）9：30～11：00
場 所：視聴覚室、町内
参加者：39 名

8. 刊行物

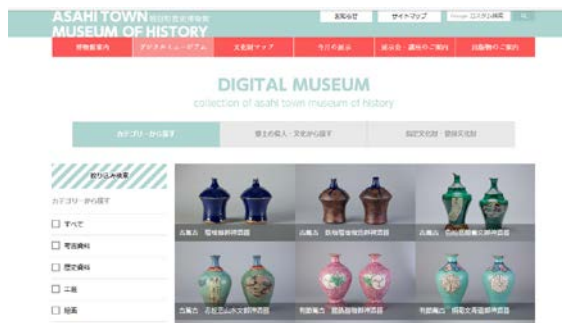
博物館における研究活動の一環として、収蔵資料である有節萬古使用型資料の整理を行い、その成果を『紀要第 10 号』として刊行しました。

9. 地方創生加速化交付金事業

地方創生加速化交付金事業として採択された「旧東海道沿線整備事業」の一環として WEB サイト制作、博物館資料のデジタル化、タブレット端末の設置、Free Wi-Fi の設置などを行いました。



『紀要第 10 号』



WEB サイト制作によるデジタルミュージアム

(2) 資料の収集と保存

1. 購入資料

資 料 名	点 数
有節萬古 「花鳥皿」	1 点
栗田真秀 「古狸観月図」	1 幅
栗田真秀 「画題不詳」	1 幅
栗田真秀 「秋草鶉図」	1 幅
水谷立仙 「双鶏図」	1 幅
栗田真秀 「富士松図」	2 曲 1 隻

2. 寄贈資料

資 料 名	点 数
出口對石 「犬之図」(色紙)	1 枚
水谷立仙 「鶴図」	1 枚
天神萬古 急須・湯呑・湯冷	1 式
品川五鈴 「山水図」	1 幅
十時梅崖 「山水図」	1 幅
十時梅崖 「山水図」	1 幅
梁川星巖 「七言絶句」	1 幅
栗田真秀 「月に雁」(短冊)	1 枚
阪井桜岳 「日の出」	1 幅
栗田真秀 「群鶴図」(額装)	1 枚
栗田真秀 「旭松之図」	1 幅
有節萬古 「緑釉徳利」	2 点
栗田真秀 「大黒之絵」	1 幅

3. 寄託資料(新規分)

資 料 名	点 数
栗田真秀 「富士松図」	2 曲 1 隻
真田信繁書状 年未詳 2 月 8 日 小山田壱岐守宛(卷子装)	1 卷
真田昌幸朱印状 年未詳 2 月 24 日 山遠岡与五右衛門宛	1 通

4. 寄託解除

資 料 名	日 時
栗田真秀 「富士松図」	平成 29 年 3 月 15 日 購入に伴う解除
真田信繁書状 年未詳 2 月 8 日 小山田壱岐守宛(卷子装)	平成 29 年 3 月 29 日 返却要請に伴う解除
真田昌幸朱印状 年未詳 2 月 24 日 山遠岡与五右衛門宛	平成 29 年 3 月 29 日 返却要請に伴う解除
典籍・軸類(883 件)	平成 29 年 3 月 31 日 返却要請に伴う解除

5. 寄贈図書

【県内】

志摩半島の海女	海女文化国際発信事業実行委員会
伊賀市史 第2巻 通史編 近世	伊賀市
伊賀市文化財年報12(2015年)	伊賀市教育委員会
見上遺跡1次・2次発掘調査報告書	いなべ市教育委員会
浮世絵から見る海女 AMA in UKIYO E	海の博物館
大台町石造物調査報告書	大台町教育委員会
The NINJAー忍者ってナンジャ！？ー 公式ブック	株式会社KADOKAWA
三重県史研究 第31号	環境生活部文化振興課県史編さん班
多度村役場村会書類目録 2	桑名市教育委員会
国指定天然記念物「多度のイヌナシ自生地」の現況に関する総合調査報告書 平成25～27年度	桑名市総務部文化課
桑名市博物館紀要 第11号	桑名市博物館
徳川四天王の城ー桑名城絵図展ー	桑名市博物館
桑名市博物館年報 平成26年度号	桑名市博物館
桑名市博物館収蔵品図録	桑名市博物館
名勝諸戸氏庭園 保存修理事業中間報告書	公益財団法人諸戸財団
平成27年度 皇學館大学研究開発推進センター年報	皇學館大学研究開発推進センター
皇學館大学研究開発推進センター紀要 第3号	皇學館大学研究開発推進センター
斎宮歴史博物館研究紀要25	斎宮歴史博物館
斎宮歴史博物館研究紀要24	斎宮歴史博物館
平成23・24年度 斎宮歴史博物館年報	斎宮歴史博物館
史跡斎宮跡 平成26年度発掘調査概報	斎宮歴史博物館
史跡斎宮跡東部整備事業報告書	斎宮歴史博物館
平成28年度特別展 古代の出雲ーその限らない魅力ー	斎宮歴史博物館
特別展 人ー歌会始御題によせてー	式年遷宮記念神宮美術館
おじょか古墳(志島古墳群11号墳)発掘調査報告 金属製品編	志摩市教育委員会
平成27年度 志摩文化財年報(第35集)	志摩文化財調査保護委員協議会
雲出川流域の歴史と自然 No.1	社会福祉法人 自由学苑福祉会
雲出川流域の歴史と自然 No.2	社会福祉法人 自由学苑福祉会
雲出川流域の歴史と自然 No.3	社会福祉法人 自由学苑福祉会
平成28年度 佐佐木信綱記念館特別展図録「わが上人ー西行へのあこがれー」	鈴鹿市
伊勢国府跡18	鈴鹿市・鈴鹿市考古博物館
平田遺跡発掘調査報告書ー御門垣内地区の調査ー	鈴鹿市・鈴鹿市考古博物館
磐城山遺跡(第6・7次)発掘調査報告書	鈴鹿市・鈴鹿市考古博物館
平成27年度企画展 黄金に輝くー信長・秀吉の瓦ー	鈴鹿市考古博物館
平成27年度特別展 鹿ー『鹿と古代人』その後ー	鈴鹿市考古博物館
鈴鹿市考古博物館年報 第17号	鈴鹿市考古博物館
速報展 発掘された鈴鹿 2015	鈴鹿市考古博物館
平成28年度特別展展示図録「伊勢の瓦 大和の瓦」	鈴鹿市考古博物館
藤原岳自然科学館館報 藤原岳 第38巻 平成27(2015)年度号	藤原岳自然科学館
明治期稿本集 明治二年東海道山すじ日記・乙酉後記・丁亥後記	松浦武四郎記念館
土居光華関係書簡群調査報告書	松阪市教育委員会
平成26年度 年報	松阪市文化財センター
三重県史 通史編「原始・古代」	三重県
三重県の文化財保護 平成26年度	三重県教育委員会
三重県総合博物館研究紀要 第1号	三重県総合博物館
三重県総合博物館資料叢書No.1ー三重県行政文書 無 足人取調帳ー	三重県総合博物館
伊勢志摩サミット開催記念 三重県総合博物館 第11回 企画展 伊勢志摩 常世の浪の重浪よする国へ、いざ	三重県総合博物館
三重県総合博物館 年報 通巻1号(平成26年度)	三重県総合博物館
三重県総合博物館研究紀要 第2号	三重県総合博物館
三重県総合博物館資料叢書No.2 ー長井家文書・梶田 家文書ー	三重県総合博物館
親鸞ー高田本山専修寺の至宝ー	三重県総合博物館
あんな虫、こんな虫、そんな虫ー身近な小さな生きものた	三重県総合博物館

SUZUKA 夢と挑戦のステージ～ホンダのF1と鈴鹿サーキット～	三重県総合博物館
南北の共存 東西の交流	三重県総合博物館
すばらしい三重の文化財Ⅰ	三重県総合博物館
くらしの道具～いま・むかし～	三重県総合博物館
国立公文書館共催 明治の日本と三重～近代日本の幕開けと鹿鳴館時代～	三重県総合博物館
伊勢志摩サミット開催記念 三重県総合博物館 第11回企画展 伊勢志摩 常世の浪の重浪よする国へ、いざ	三重県総合博物館
大変動の地 三重の三億年変動に生きた巨大生物たち	三重県総合博物館
三重県総合博物館 移動展示「先っちょ志摩に生きる」	三重県総合博物館
三重県総合博物館 第14回企画展 植木等と昭和の時代	三重県総合博物館
交流展 すばらしい三重の文化財Ⅱ「うけつぐ、まもる、つたえる。」	三重県総合博物館
三重県総合博物館トピック展「くらしの道具～いま・むかし～	三重県総合博物館
安養寺跡を探索－安養寺跡発掘調査概要－	三重県多気郡明和町
近畿自動車道名古屋神戸線(四日市JCT～亀山西JCT)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概報Ⅵ	三重県埋蔵文化財センター
平成27年度 三重県埋蔵文化財年報	三重県埋蔵文化財センター
三重県埋蔵文化財調査報告372 大久保遺跡(第3次)発掘調査報告	三重県埋蔵文化財センター
三重県埋蔵文化財調査報告323-5 北山A遺跡(第2・3・5・6次)発掘調査報告	三重県埋蔵文化財センター
三重県埋蔵文化財調査報告373 野添大辻遺跡(第4次)発掘調査報告	三重県埋蔵文化財センター
三重の味 千彩万彩	みえ食文化研究会
三重大学史学 第16号	三重大学人文学部考古学・日本史・東洋史研究室
磯浦神祭 本編・ダイジェスト(DVD)	南伊勢町教育委員会
史跡熊野参詣道(伊勢路)横垣峠道 災害復旧事業報	御浜町教育委員会
史跡斎宮跡 平成26年度現状変更緊急発掘調査報告	明和町
史跡 斎宮跡 平成27年度現状変更緊急発掘調査報告	明和町
日本遺産 祈る皇女 斎王のみやこ斎宮	明和町日本遺産活用推進協議会
鈴屋学会報 第33号	本居宣長記念館
大膳寺跡6	四日市市教育委員会
一般国道1号北勢バイパス 埋蔵文化財発掘調査概報	四日市市教育委員会

【県外】

八竜遺跡	愛西市教育委員会
史跡尾張国分寺跡保存管理計画書	愛知県稲沢市
平成28年度 特別展 「内国博で地域振興!?－明治の夢、大大阪を拓く－」	池田市立歴史民俗資料館
市内遺跡3 伊勢崎市文化財調査報告書第119集	伊勢崎市教育委員会
平成25・26年度 市内遺跡確認調査報告書	伊勢崎市教育委員会 文化財保護課
本関町古墳群2	伊勢崎市教育委員会 文化財保護課
伊勢崎市埋蔵文化財展『古墳発掘!!』	伊勢崎市教育委員会 文化財保護課
稲沢市内遺跡発掘調査概要報告書(V) 史跡尾張国分寺跡第19次調査	稲沢市教育委員会
稲沢の歴史年表	稲沢市教育委員会
静岡県磐田市 市内遺跡確認調査報告書	磐田市教育委員会
富山県魚津市埋蔵文化財分布調査報告3	魚津市教育委員会
岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第32冊 鹿田遺跡10	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要 2015	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 No.56	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 No.57	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
海津市歴史民俗資料館 館報平成27年度号(No.15)	海津市歴史民俗資料館
民俗考古展示室 常設展示図録(考古編) かすがい古代史発掘	春日井市教育委員会
春日井市遺跡開設パンフレットその2 勝川遺跡・勝川廃寺～環濠集落から古墳群、そして伽藍へ～	春日井市教育委員会
平成26年度 市内遺跡調査概要報告書	春日井市教育委員会
平成27年度 市内遺跡調査概要報告書	春日井市教育委員会
春日井市遺跡発掘調査報告 第14集 高御堂古墳－高御堂古墳第1次～第8次発掘調査報告書－	春日井市教育委員会

平成25年度文化財特別展図録『古窯のまち春日井～その歴史的起源を探る～』	春日井市教育委員会
加東市文化財年報 ―2014年度― 【CD-ROM】	加東市教育委員会
被災写真救済の手引き 津波・洪水などで水損した写真への対応マニュアル	株式会社国書刊行会
鎌倉 第121号	鎌倉文化研究会
鎌倉 第122号	鎌倉文化研究会
上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報 第21号 ―2014(平成26)年度―	上高津貝塚ふるさと歴史の広場
上高津貝塚ふるさと歴史の広場 第19回企画展 みんなの知らない植物の世界―適材適所の考古学―	上高津貝塚ふるさと歴史の広場
開館15周年記念 長浜市曳山博物館ガイドブック	公益財団法人長浜曳山文化協会(長浜市曳山博物館)
平成26年度長浜市曳山博物館 特別展・企画展 展示	公益財団法人長浜曳山文化協会(長浜市曳山博物館)
平成27年度長浜市曳山博物館 特別展・企画展 展示	公益財団法人長浜曳山文化協会(長浜市曳山博物館)
平成27年度 成田山文化財団年報 第7号	公益財団法人成田山文化財団
追手筋遺跡 新図書館等複合施設建設に伴う埋蔵文化財試掘確認調査報告書	高知市教育委員会
第1回 古代歴史文化協議会講演会資料	古代歴史文化協議会
第2回 古代歴史文化協議会講演会資料	古代歴史文化協議会
島田市博物館年報 第13号	島田市博物館
平成28年度 市町村立美術館活性化事業 第17回共同巡回展 日本・ベルギー友好150周年記念「姫路市立美術館所蔵 ポール・テルヴォー版画展～幻想のヴィーナス 忠臣蔵から村文書まで―西播磨のアーカイブ―	第17回共同巡回展実行委員会
仲古窯跡群 富山C古窯跡群 平岩古窯跡群 野添原A古窯跡群 豊川用水二期事業埋蔵文化財調査報告書	たつの市立龍野歴史文化資料館
平成28年度／春の企画展 田原の美術 道家珍彦展―シルクロードと渥美―	田原市教育委員会
田原市博物館 研究紀要第8号・田原の文化第42号	田原市博物館
知多市の講 知多市文化財資料 第44集	知多市教育委員会
知多市歴史民俗博物館年報 第17号(平成27年度)	知多市歴史民俗博物館
安定化処理 ～大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト～(2015改定版)	津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト実行委員会・公益財団法人日本博物館協会・ICOM日本委員会
古代瓦研究Ⅶ ―平城宮式軒瓦の展開1 6225-6663系― ―平城宮式軒瓦の展開2 6282-6721系―	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所
埋蔵文化財ニュース 162	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所埋蔵文化財センター
埋蔵文化財ニュース 163	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所埋蔵文化財センター
埋蔵文化財ニュース 164	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所埋蔵文化財センター
埋蔵文化財ニュース 165	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所埋蔵文化財センター
平成28年 真田宝物館特別企画展図録「戦国の真田」	長野市教育委員会文化財課・松代文化施設等管理事務所(真田宝物館)
長野市立博物館 紀要 第17号(人文系)	長野市立博物館
海津城の主たち	長野市立博物館
伊勢町八田家所蔵品調査報告(兼 長野市立博物館収蔵資料目録 民俗3 歴史16)	長野市立博物館
2015(平成27)年度 玄関ホール写真展「私がとらえた大和の民俗―衣―」	奈良県立民俗博物館
8世紀の瓦づくり VI―飛雲文軒瓦の展開―	奈良文化財研究所 古代瓦研究会事務局
南山大学人類学博物館紀要 第34号	南山大学人類学博物館
南山大学人類学博物館紀要 第35号	南山大学人類学博物館
平成28年度収蔵品展図録 むかしのくらしと道具展	南丹市日吉町郷土資料館
平成28年度秋季特別展『山里のくらし―木材生産と大堰川水運―』	南丹市日吉町郷土資料館
南丹市制10周年記念 平成28年度秋季特別展 秋野不矩展～創造の美～	南丹市立文化博物館
学校のあゆみ 八木地区編 平成28年度 春季企画展	南丹市立文化博物館
半田市立博物館 平成27年度 年報・紀要	半田市立博物館
東近江市埋蔵文化財調査報告書第28集 市内遺跡の	東近江市教育委員会 東近江市埋蔵文化財センター

東近江市埋蔵文化財調査報告書第29集 能登川石田遺跡(34-1次)・能登川横田遺跡(2次)・大森陣屋遺跡	東近江市教育委員会 東近江市埋蔵文化財センター
東近江市の遺跡シリーズ1「史跡 雪野山古墳」第3版	東近江市教育委員会 東近江市埋蔵文化財センター
東近江市の遺跡シリーズ13「鯉江城・井元城・青山城・小倉城」	東近江市教育委員会 東近江市埋蔵文化財センター
東近江市の遺跡シリーズ14「相谷熊原遺跡」	東近江市教育委員会 東近江市埋蔵文化財センター
東近江市の遺跡シリーズ15「金貝遺跡」	東近江市教育委員会 東近江市埋蔵文化財センター
東近江市の遺跡シリーズ16「織山の古墳群 山面古墳	東近江市教育委員会 東近江市埋蔵文化財センター
年報 2014	松本市立博物館
松本市平和都市宣言30周年記念事業 第6回戦争と平和展－戦争の記憶と記録から平和を考える	松本市立博物館
年報 2015	松本市立博物館
川崎のぼる 汗と涙と笑いと	三鷹市美術ギャラリー・神戸新聞社
石山南古墳群 倉庫建設及び土地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	山下工業株式会社
草倉遺跡3	山下工業株式会社
天神前Ⅱ遺跡－建売分譲地造成に伴う埋蔵文化財調査報告書－	有限会社 毛野考古学研究所
西太田遺跡4	有限会社 歴史考房まほら
大谷戸遺跡	有限会社 歴史考房まほら
横浜美術館・森美術館コラボレーション中高生プログラム [体験しよう！伝えよう！アート]蔡國強展とディン・Q・レ展をめぐるワークショップ[記録誌]	横浜美術館教育普及グループ教育プロジェクト
早稲田大学 会津八一記念博物館所蔵 陶磁器目録	早稲田大学会津八一記念博物館
日光道中幸手宿受け売りばなし	

6. 収蔵資料の貸出

展示期間	資 料 名	目 的	申 請 者
平成 28 年 9 月 13 日 ～12 月 16 日	縄生廃寺跡出土軒丸瓦	特別展「伊勢の瓦 大和の瓦」への展示	鈴鹿市
平成 28 年 11 月 17 日 ～12 月 25 日	古萬古 3 点 有節萬古 17 点 有節萬古使用型資料 10 点	企画展「北勢萬古名品展―北勢地区所蔵館の名品を集めて―」への展示	パラミタミュージアム
平成 28 年 12 月 2 日 ～12 月 12 日 平成 29 年 1 月 7 日 ～1 月 9 日	真田信繁書状年次不詳 2 月 8 日付 真田昌幸朱印状未 2 月 24 日付	真田宝物館特別企画展「戦国の絆」及び企画展「真田一族」への展示	松代文化施設等管理事務所
平成 29 年 2 月 14 日 ～3 月 24 日	真田信繁書状年次不詳 2 月 8 日付 真田昌幸朱印状未 2 月 24 日付	真田氏関連特別企画展「真田信繁と真田家の絆」への展示	上田市立博物館

7. 収蔵資料等の特別利用

許可日	資 料 名	目的	申 請 者
平成 28 年 5 月 11 日	『大吉天神宮納帳』 ポジフィルム	『老のくりごと―八十以後国文学談義―』への掲載	有限会社 和泉書院
平成 28 年 6 月 21 日	縄生廃寺出土軒瓦	特別展「伊勢の瓦 大和の瓦」にかかる資料調査のため	鈴鹿市
平成 28 年 8 月 9 日	縄生廃寺出土軒瓦	特別展「伊勢の瓦 大和の瓦」展示図録掲載への写真撮影	鈴鹿市
平成 28 年 11 月 18 日	真田信繁書状写真 デジタルデータ 真田昌幸朱印状写真 デジタルデータ	特別企画展「戦国の絆」及び企画展「真田一族」に関わる広報用のため	松代文化施設等管理事務所
平成 28 年 11 月 25 日	真田信繁書状写真 デジタルデータ	「週間長野」12 月 3 日号への掲載のため	(株) 週間長野新聞社
平成 28 年 11 月 30 日	真田信繁書状写真 デジタルデータ	ニュース番組への使用のため	(株) インフォメーション・ネットワーク・コミュニティ
平成 28 年 11 月 25 日	真田信繁書状写真 デジタルデータ 真田昌幸朱印状写真 デジタルデータ	真田氏関連特別企画展「真田信繁と真田家の絆」展示図録への掲載のため	上田市立博物館
平成 28 年 12 月 1 日	真田信繁書状写真 デジタルデータ	BS11「尾上松也の古地図で謎解き！にっぽん探求」での使用のため	(株) イースト・エンタテインメント
平成 28 年 12 月 26 日	真田信繁書状写真 デジタルデータ	TJ・MOOK『新発見で迫る戦国の謎』（仮称）に掲載のため	株式会社グレイル
平成 28 年 12 月 27 日	縄生廃寺の発掘写真 縄生廃寺出土塔心礎納置品写真	『An Illustrated Companion to Japanese Archaeology』掲載のため	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所
平成 29 年 2 月 28 日	真田信繁書状写真 デジタルデータ	BS-TBS「諸説あり！」での使用のため	テレコムスタッフ株式会社
平成 29 年 3 月 10 日	縄生廃寺遺構写真	『韓・中・日古代寺址比較研究（Ⅰ）―木塔編―国立扶余文化財研究所 学術研究叢書 第 49 輯』（日本語版）への掲載のため	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所
平成 29 年 3 月 14 日	真田信繁書状写真 デジタルデータ	BS-TBS「英傑の末裔」での使用のため	有限会社 らいんおふ

Ⅲ あさひライブラリー

(1)事業概要

1. 手作り絵本教室

「のびる絵本」を作成

日 時： 平成28年7月22日（金） 13:00～16:00

会 場： 視聴覚室

講 師： 亀山絵本と童話の会

参加人数： 29名

2. 工作教室

「目がくるくるまわる貯金箱」をつくろう！

日 時： 平成28年8月3日（水） 10:00～12:00

会 場： 視聴覚室

参加人数： 20名

3. 成人向け教室

◇「本の修理講座」

日 時： 平成28年10月7日（金） 10:00～12:00

会 場： 視聴覚室

講 師： 長井雅子氏（㈱図書館流通センター）

参加人数： 4名

4. おはなし会

◇ ボランティア「がけやま」の皆さんによる絵本・紙芝居の読み聞かせ

日 時： 毎月第2・4土曜日 15:00～15:30

会 場： お話コーナー

参加人数： 80名

◇ ボランティア「ぽかぽか絵本」の皆さんによる乳幼児に向けた手遊び、絵本・紙芝居の読み聞かせ

日 時： 奇数月第4水曜日 10:00～（20分程度）

会 場： お話コーナー

対 象： 乳幼児、保護者

参加人数： 61名

◇ ボランティア「ぽかぽか絵本」の皆さんによる乳幼児に向けた絵本の読み聞かせ

日 時： 7・8ヶ月検診時

会 場： 保険福祉センター

対 象： 7・8ヶ月児、保護者

5. ストーリーテリング

◇ ボランティア「フォンターナ」の皆さんによるストーリーテリング

日 時： 5・8・11・2月第3日曜日 11:00～11:30

会 場： 視聴覚室

参加人数： 67名



手作り絵本教室の様子



工作教室の様子

6. 映画会

学校の休みに合わせ、視聴覚室にて映画会を開催。

◇春休み映画会

日 時：平成28年4月1日(金) 14:00～15:30

タイトル：「こねこ」

参加人数：37名

◇夏休み映画会

日 時：平成28年8月17日(水) 14:00～15:30

タイトル：「サミーとシェリー 七つの海の大冒険」

参加人数：18名

◇冬休み映画会

日 時：平成28年12月22日(木) 14:00～14:30

タイトル：「サンタ・カンパニー」

参加人数：29名

7. 上映会

成人に向けた上映会を開催。

◇春

日 時：平成28年5月27日(金) 10:00～12:15

タイトル：「蟬しぐれ」

参加人数：12名

◇夏

日 時：平成28年7月8日(金) 10:00～11:00

タイトル：「三遊亭楽太郎十八番集(1)薮入り・お化長屋」

参加人数：7名

◇秋

日 時：平成28年11月16日(水) 10:00～11:35

タイトル：「最高の人生のつくり方」

参加人数：5名

◇冬

日 時：平成29年2月10日(金) 10:00～11:10

タイトル：「綾小路きみまろ 爆笑！エキサイトライブビデオ04」

参加人数：18名

8. ブックトーク

朝日小学校にてブックトークを開催。

	実施日	対象	テーマ	参加人数
一学期	7/5(火)	低学年	七夕	64名
	7/7(木)	中学年	夏休みは図書館へ行こう！	27名
	7/8(金)	高学年	研究と人々	10名
二学期	12/13(火)	低学年	保存食	24名
	12/14(木)	中学年	大掃除	15名
	12/15(金)	高学年	健康に冬を過ごそう	18名
三学期	3/1(水)	低学年	生まれる	28名
	3/2(木)	中学年	日本のお菓子	6名
	3/3(金)	高学年	モモ	4名

9. 子ども読書週間

図書館お勧めの本などを紹介・展示。

日 時：平成28年4月23日(土)～5月12日(木)

会 場：図書館

10. 夏休み宿題サポートコーナー

夏休みの宿題に役立つ本の紹介・展示・レファレンスなど。

日 時：平成28年7月13日(水)～8月30日(火)

会 場：図書館

11. 子ども司書養成講座

三重県が実施する「子ども司書育成事業」に参加。

日 時：平成28年8月2日(火)～3日(水) 8:30～15:00

会 場：視聴覚室

参加人数：2名

12. わたしのまちの情報コンシェルジュ

◇夏休み、どこ行こう？全国の観光パンフレット大集合！！

日 時：平成28年6月3日(金)～8月30日(火)

会 場：エントランス

◇「知る、いく、つながる。熊本・大分と東北」展示(三重県立図書館連携事業)

日 時：平成28年9月1日(木)～9月15日(木)

会 場：エントランス・図書館

13. 普通救命講習

四日市北消防署協力による普通救命講習。

日 時：平成28年9月9日(金) 9:00～12:00

会 場：視聴覚室

参加人数：中止(申込者少数のため)

14. 5(Go!)スタンプラリー

読書週間(10/27～11/9)にあわせて実施。

5種類の分類の本を読んでスタンプを集め、景品をプレゼント。

日 時：平成28年10月29日(土)～11月13日(日)

会 場：図書館

参加人数：61名

15. 雑誌・図書リサイクル会

不用になった雑誌・図書を無料で利用者の方々に譲渡。

日 時：平成28年11月3日(木・祝) 9:00～13:00

会 場：視聴覚室

参加人数：109名

16. めいぐるみおとまり会

めいぐるみと一緒におはなし会を聞いた後、めいぐるみを預かり、閉館後の図書館で探検や読書をしている様子を写真に撮影しプレゼント。

日 時：平成29年2月25日(土)～2月26日(日)

会 場：図書館

参加人数：10名

17. 地方創生事業

◇「聞かせ屋。けいたろう絵本ライブ&読み聞かせ講座」(絵本ライブ)

日 時：平成28年11月25日(金) 10:00～10:30

会 場：視聴覚室

講 師：聞かせ屋。けいたろう氏

参加人数：61名

◇「聞かせ屋。けいたろう絵本ライブ&読み聞かせ講座」(読み聞かせ講座)

日 時：平成28年11月25日(金) 10:45～11:30

会 場：視聴覚室

講 師：聞かせ屋。けいたろう氏

参加人数：16名

◇「藤田浩子さんおはなし会&講習会」(おはなし会)

日 時：平成29年1月27日(金) 10:00～10:30

会 場：視聴覚室

講 師：藤田 浩子氏(おはなしおばさん)

参加人数：56名

◇「藤田浩子さんおはなし会&講習会」(講習会)

日 時：平成29年1月27日(金) 10:45～12:30

会 場：視聴覚室

講 師：藤田 浩子氏(おはなしおばさん)

参加人数：31名

◇「かいけつゾロリ 原ゆたかさんお絵かき会&サイン会」

日 時：平成29年2月5日(日) 第1部10:00～13:00 第2部14:00～17:00

会 場：視聴覚室

講 師：原ゆたか氏(児童文学作家)

参加人数：80名



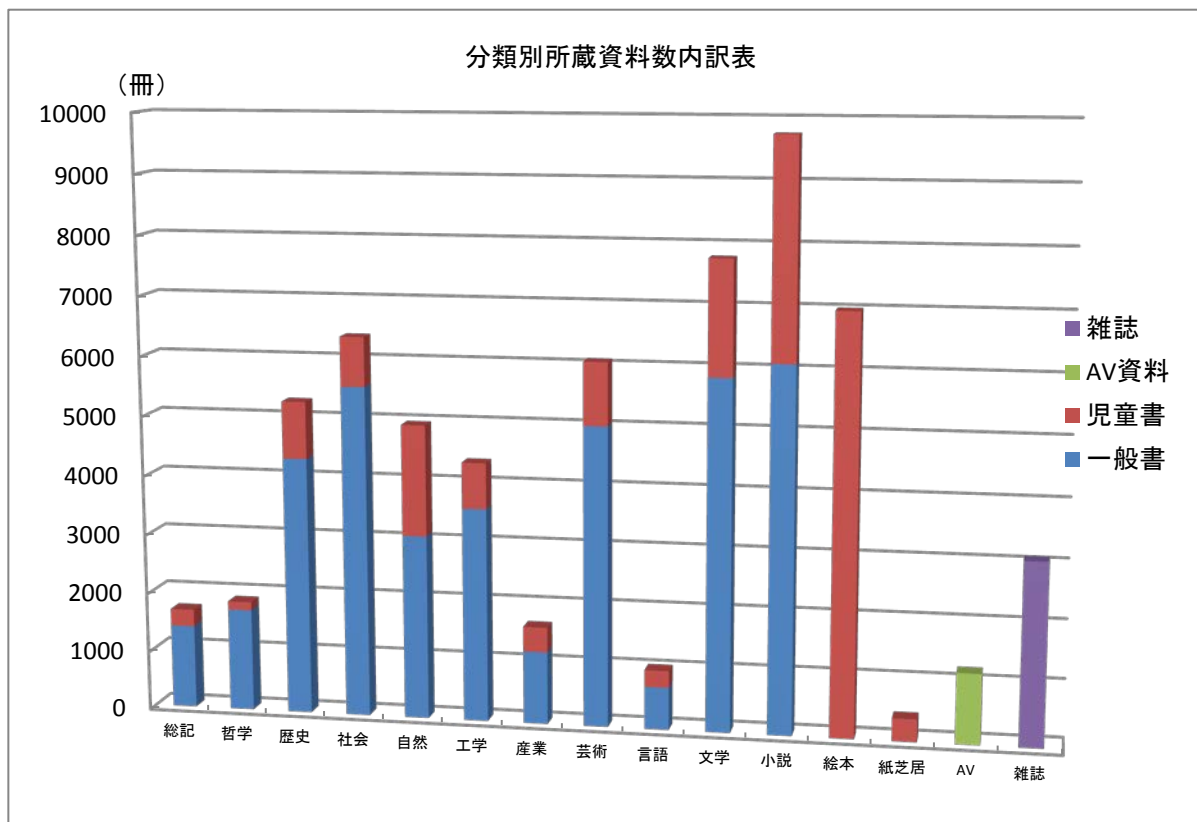
聞かせ屋。けいたろう絵本ライブ&読み聞かせ講座の様子

(2) 利用状況

1. 分類別所蔵資料数内訳表

単位:冊

	16/3/31現在	所蔵割合%	17/3/31現在	所蔵割合%
0 総記	1,408	2	1,416	2
1 哲学	1,726	3	1,705	3
2 歴史	4,335	7	4,365	7
3 社会	5,553	9	5,322	9
4 自然	3,101	5	2,986	5
5 工学	3,598	6	3,655	6
6 産業	1,233	2	1,152	2
7 芸術	5,020	8	4,876	8
8 言語	723	1	710	1
9 文学	5,864	9	5,654	9
F 小説	6,109	10	6,128	10
一般書合計	38,670	62	37,969	61
K 児童	12,103	19	12,442	20
E 絵本	6,985	11	7,091	11
P 紙芝居	389	1	389	1
児童書合計	19,477	31	19,922	32
AV資料	1,203	2	1,115	2
雑誌	3,082	5	3,165	5
全資料合計	62,432	100	62,171	100



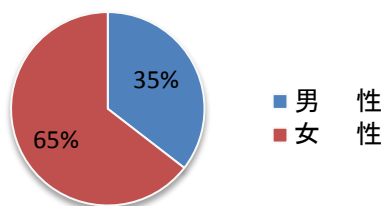
2. 登録者数

単位:人

男 性	1,589
女 性	2,891
合 計	4,480

団 体	23
-----	----

男女別利用登録者数



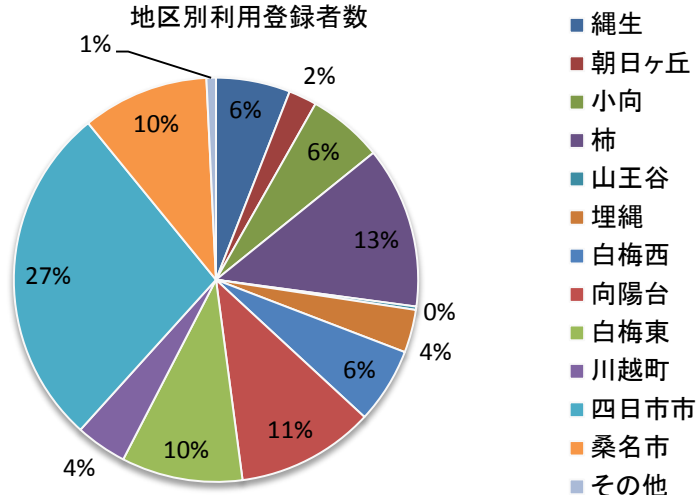
3. 地区別登録者数

単位:人

縄生	266
朝日ヶ丘	101
小向	269
柿	579
山王谷	12
埋縄	154
白梅西	271
向陽台	494
白梅東	434
川越町	184
四日市市	1,228
桑名市	454
その他	34
合計	4,480

団体	23
----	----

地区別利用登録者数



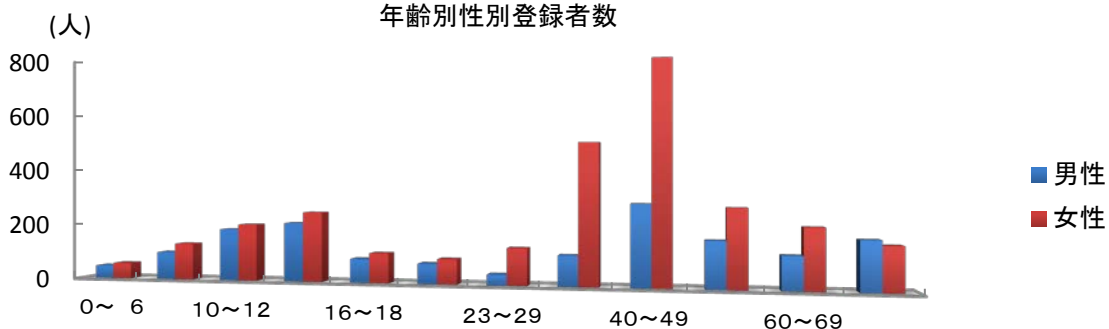
4. 年齢別登録者数

単位:人

	男性	女性	合計
0～ 6	46	56	102
7～ 9	99	131	230
10～12	186	204	390
13～15	211	250	461
16～18	85	106	191
19～22	72	89	161
23～29	38	131	169
30～39	108	497	605
40～49	288	783	1,071
50～59	165	276	441
60～69	118	213	331
70～	173	155	328
合計	1,589	2,891	4,480

団体	23
----	----

年齢別性別登録者数



5. 分類別貸出冊数

単位:冊

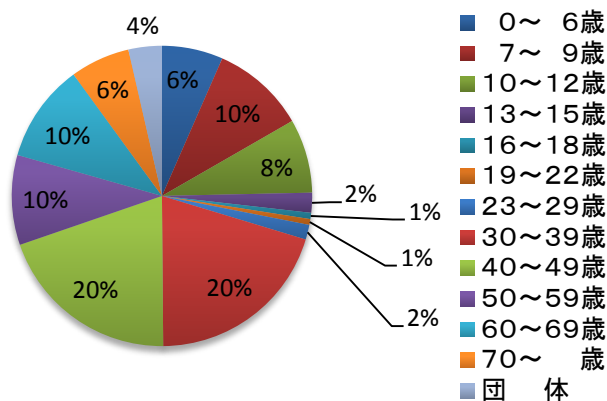
	28年度貸出冊数	貸出割合%	27年度貸出冊数	前年比%
0 総記	354	0.4	334	106.0
1 哲学	1,009	1.2	1,055	95.6
2 歴史	3,057	3.5	3,195	95.7
3 社会	2,010	2.3	2,022	99.4
4 自然	1,585	1.8	1,620	97.8
5 工学	3,308	3.8	2,942	112.4
6 産業	951	1.1	955	99.6
7 芸術	3,264	3.7	3,391	96.3
8 言語	249	0.3	333	74.8
9 文学	2,242	2.6	2,302	97.4
F 小説	13,329	15.3	13,232	100.7
一般書合計	31,358	36.0	31,381	99.9
児童書	24,687	28.3	20,217	122.1
絵本	20,706	23.8	20,655	100.2
紙芝居	477	0.5	415	114.9
雑誌	9,891	11.4	9,966	99.2
全資料合計	87,119	100	82,634	105.4

6. 年齢別貸出冊数

単位:冊

0～6歳	5,731
7～9歳	8,804
10～12歳	6,941
13～15歳	1,871
16～18歳	582
19～22歳	548
23～29歳	1,388
30～39歳	17,579
40～49歳	17,299
50～59歳	8,427
60～69歳	9,224
70～歳	5,592
団体	3,133
合計	87,119

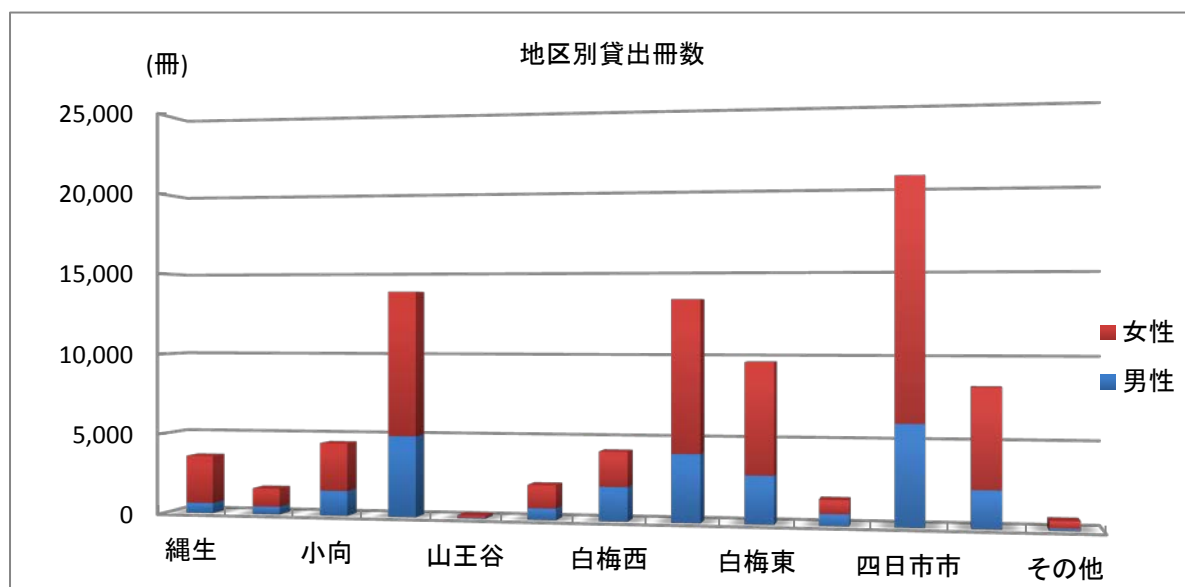
年齢別貸出冊数



7. 地区別貸出冊数

単位:冊

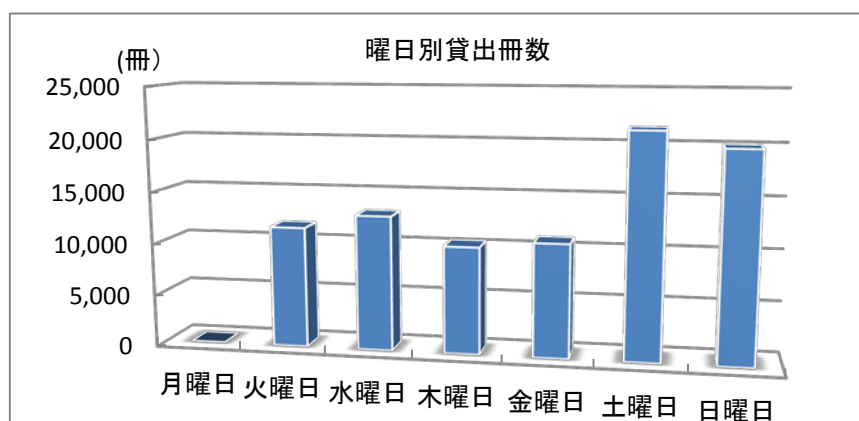
地区	貸 出 冊 数			割合(%)
	男	女	地区別計	
縄生	618	2,960	3,578	4
朝日ヶ丘	473	1,130	1,603	2
小向	1,532	2,950	4,482	5
柿	4,974	8,875	13,849	16
山王谷	47	135	182	0
埋縄	701	1,411	2,112	2
白梅西	2,076	2,121	4,197	5
向陽台	4,118	9,248	13,366	15
白梅東	2,896	6,748	9,644	11
川越町	705	836	1,541	2
四日市市	6,062	14,556	20,618	24
桑名市	2,261	5,973	8,234	9
その他	131	449	580	1
団体	—	—	3,133	4
合計	26,594	57,392	87,119	100



8. 曜日別貸出冊数

単位:冊

月曜日	0
火曜日	11,624
水曜日	12,971
木曜日	10,293
金曜日	10,893
土曜日	21,415
日曜日	19,923
計	87,119



9. 月別開館日数・貸出冊数・貸出者数

	開館日数	貸出冊数(冊)	貸出人数(人)
平成28年 4月	25	7,234	1,508
5月	25	7,185	1,502
6月	25	7,594	1,577
7月	27	9,708	1,986
8月	23	8,986	1,901
9月	24	6,562	1,342
10月	16	5,749	1,169
11月	23	6,496	1,277
12月	22	6,520	1,319
平成29年 1月	22	6,530	1,366
2月	21	7,047	1,495
3月	26	7,508	1,620
合 計	279	87,119	18,062

10. 各種サービス利用件数

○予約・リクエスト件数

予 約	1287 件
リクエスト	1034 件

○コピー利用件数

利用件数	219 件
利用枚数	689 枚

○相互貸借件数

図書館名	借受	貸出	図書館名	借受	貸出
三重県立図書館	104	61	紀北町多目的会館図書室	9	
桑名市立中央図書館	13	23	紀北町児童図書館	1	
ふるさと多度文学館	12	22	紀伊長島図書室	1	
長島輪中図書館	11		紀宝町立鶴殿図書館	2	
いなべ市北勢図書館	6	2	三重大学附属図書館	7	
いなべ市員弁図書館	1		愛知県図書館	6	
いなべ市大安図書館	9	1	名古屋市鶴舞中央図書館	2	
いなべ市藤原図書館	1		名古屋市熱田図書館	1	
東員町立図書館	11	3	名古屋市千種図書館	1	
四日市市立図書館	21	7	稲沢市立中央図書館	2	
あさけプラザ図書館	6	1	小牧市立図書館		1
楠公民館図書室	11	1	東海市立中央図書館	1	
菰野町図書室	29	10	半田市立図書館	1	
川越町あいあいセンター図書室	14	3	蟹江町図書館	1	
鈴鹿市立図書館	18	4	武豊町立図書館		1
亀山市立図書館	37	19	安城市中央図書館	1	
津市津図書館	20	1	蒲郡市立図書館	1	
津市久居ふるさと文学館	4	3	豊田市中心図書館	2	
津市河芸図書館	10		岐阜県図書館	4	
津市芸濃図書館	11		岐阜市立中央図書館	1	
津市美里図書館	11		羽島市立図書館	1	
津市安濃図書館	3		山県市図書館	1	
津市きらめき図書館	5	2	瑞穂市図書館		1
津市一志図書館	7		岐南町図書館	1	
津市うぐいす図書館	8		北方町立図書館	1	
松阪市松阪図書館	18	1	大垣市立図書館	3	
松阪市嬉野図書館	2		ハートピア安八図書館	3	
多気町立多気図書館	12	2	揖斐川図書館	1	
多気町立勢和図書館	3	6	池田町図書館	1	
明和町立図書館	36	10	関市立図書館	3	1
大台町立図書館	9		多治見市図書館	2	
伊勢市立伊勢図書館	16	3	中津川市立図書館	1	
伊勢市立小俣図書館	19	2	土岐市図書館	1	
鳥羽市立図書館	20		富山県立図書館	9	
志摩市立図書館	10	6	富山市立図書館	2	
志摩市立図書館志摩図書室	11	8	魚津市立図書館	1	
志摩市立磯辺図書室	7		南砺市立平図書館	1	
伊賀市上野図書館	18		射水市中央図書館	1	
名張市立図書館	23	18	滋賀県立図書館	1	
尾鷲市立図書館	11	1	京都府立図書館	1	
熊野市立図書館	9		三田市立図書館	5	
紀北町町民センター	2				
合 計				693	224

○視聴覚資料利用件数

単位:件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
163	154	140	291	321	190	121	152	117	89	94	160	1,992

11. 定期刊行物資料一覧

【雑誌】

AERA	週刊
ALBA	月2刊
安心	月刊
with	月刊
美しいキモノ	季刊
栄養と料理	月刊
NHKきょうの健康	月刊
NHKきょうの料理	月刊
NHK趣味の園芸	月刊
園芸ガイド	季刊
男の隠れ家	月刊
オレンジページ	月2刊
かがくのとも	月刊
家庭画報	月刊
Can Cam	月刊
クーヨン	月刊
暮らしの手帖	隔月刊
クロワッサン	月2刊
芸術新潮	月刊
健康	月刊
子供の科学	月刊
こどものとも 012	月刊
こどものとも 年少版	月刊
こどものとも 年中向き	月刊
この本読んで！	季刊
サライ	月刊
CNN ENGLISH EXPRESS	月刊
JTB時刻表	月刊
週刊新潮	週刊
ジュニアエラ	月刊
スクリーン	月刊
すてきにハンドメイド	月刊
SUMAI no SEKKEI	隔月刊

ダ・ヴィンチ	月刊
ダイヤモンドZAi	月刊
たくさんのふしぎ	月刊
旅の手帖	月刊
たまごクラブ	月刊
短歌	月刊
CHANTO	月刊
中央公論	月刊
つり人	月刊
鉄道ファン	月刊
東海ウォーカー	月刊
NAGI	季刊
ナショナル ジオグラフィック 日本版	月刊
Number	隔週刊
日経PC21	月刊
日経トレンディ	月刊
日本カメラ	月刊
News week 日本版	週刊
Newton	月刊
non-no	月刊
俳句	月刊
BE-PAL	月刊
ひよこクラブ	月刊
婦人公論	月2刊
PLUS 1 LIVING	季刊
プレジデント	月2刊
文芸春秋	月刊
ミセス	月刊
MEN'S NON-NO	月刊
MOE	月刊
MOTOR MAGAZINE	月刊
LEE	月刊
レタスクラブ	月2刊

【新聞】

- 朝日新聞
- 伊勢新聞
- 中日新聞
- 中日スポーツ
- 日本経済新聞
- 毎日新聞
- 読売新聞

【その他】

- 広報あさひ
- あさひ議会だより
- 各種リーフレット(国・県等発行)

12. 各種統計

【基礎数値】

住民人口	10,656 人
蔵書冊数	62,171 冊
貸出冊数	87,119 冊
貸出者数	18,062 人
登録者数	4,480 人
朝日町	2,580 人
町外	1,900 人

(17/3/31日現在)

1 登録率(朝日町)	$\frac{\text{登録者数(朝日町)}}{\text{住民人口}} \times 100 =$	24.2 %
2 住民人口ひとり当り 貸出冊数	$\frac{\text{貸出冊数}}{\text{住民人口}} =$	8.18 冊
3 利用者一回当り 貸出冊数	$\frac{\text{貸出冊数}}{\text{貸出者数}} =$	4.82 冊
4 登録者ひとり当り 貸出冊数	$\frac{\text{貸出冊数}}{\text{登録者数}} =$	19.45 冊
5 登録者ひとり当り 貸出回数	$\frac{\text{貸出者数}}{\text{登録者数}} =$	4.03 回
6 蔵書回転率	$\frac{\text{貸出冊数}}{\text{蔵書冊数}} =$	1.40

IV 諸統計

(1) 施設利用状況

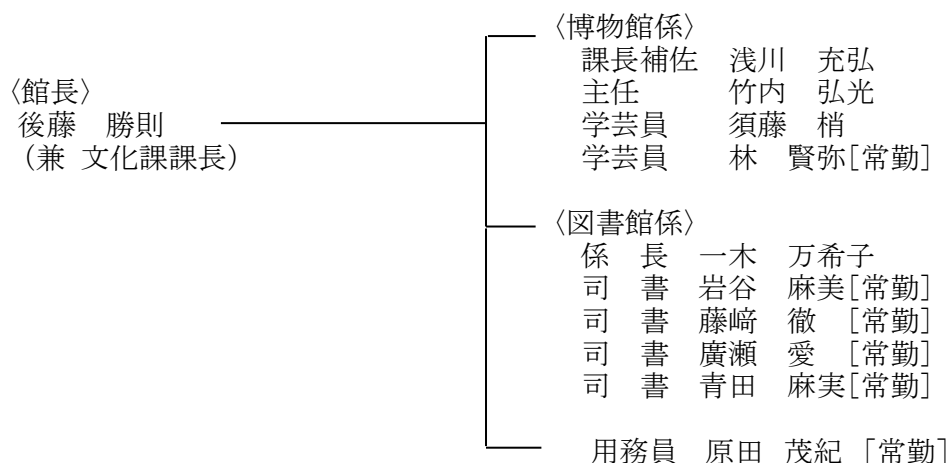
	あさひライブラリー(図書館)		歴史博物館	視聴覚室			会議室	
	貸出者数	貸出冊数		団体利用		学習利用	団体数	人数
				団体数	人数			
4月	1,508	7,234	363	3	83	51		
5月	1,502	7,185	276	4	101	97	1	12
6月	1,577	7,594	764	4	135	85	1	15
7月	1,986	9,708	242	4	85	122	1	18
8月	1,901	8,986	229	3	70	132		
9月	1,342	6,562	279	3	80	87	1	12
10月	1,169	5,749	233	3	70	44	1	12
11月	1,277	6,496	958	4	123	78		
12月	1,319	6,520	185	4	133	56		
1月	1,366	6,530	1,234	3	73	37		
2月	1,495	7,047	800	2	53	28	1	12
3月	1,620	7,508	1,542	1	26	57		
計	18,062	87,119	7,105	38	1,032	874	6	81

(2) 経費と組織

1. 平成28年度 歳出決算書

科 目	文化振興費	歴史博物館費	図書館費
報酬	161,200	0	0
給料	18,366,338	0	0
職員手当	12,072,518	0	0
共済費	9,021,596	0	0
貸金	1,882,735	2,655,200	9,448,712
報償費	0	46,885	332,548
旅費	8,760	604,620	499,720
需用費	265,155	14,381,540	1,430,725
役務費	0	469,872	12,420
委託費	1,146,960	8,913,100	1,041,200
使用料及び賃借料	14,545	429,717	3,421,188
備品購入費	0	420,400	2,869,551
負担金補助及び交付金	0	39,000	9,500
繰出金	0	2,151	0
合 計	42,939,807	27,962,485	19,065,564

2. 組織



(3) 日誌抄

4月	1日	春休み映画会「こねこ」
	5日	視聴覚室利用(友朋書会)
	6日	視聴覚室利用(フォンターナ)
	19日	視聴覚室利用(友朋書会)
	24日	視聴覚室利用(将棋教室)
5月	26日	第1回古文書学習会
	10日	会議室利用(三重郡同和教育研究協議会役員)
	11日	視聴覚室利用(フォンターナ)
	14日	視聴覚室利用(将棋教室)
	15日	視聴覚室利用(ストーリーテリング)
	17日	視聴覚室利用(友朋書会)
	18日	視聴覚室利用(三重県区画整理組合総会)
6月	27日	上映会「蟬しぐれ」 運営協議会、文化財調査委員会
	1日	視聴覚室利用(フォンターナ)
	7日	視聴覚室利用(友朋書会)
	12日	視聴覚室利用(子ども将棋教室)
	18日	視聴覚室利用(町史編さん課)
	21日	第2回古文書学習会
	21日～ 7月19日	朝日中学校3年生俳句作品展
	22日	会議室利用(教頭会)
	28日	視聴覚室利用(友朋書会)
	28日	視聴覚室利用(友朋書会)
7月	1日	視聴覚室・会議室利用(教育課)
	6日	視聴覚室利用(フォンターナ)
	8日	上映会「三遊亭楽太郎十八番集(1)」
	13日	会議室利用(産業建設課)
	15日	視聴覚室・会議室利用(教育課)
	19日	視聴覚室利用(友朋書会)
	19日	視聴覚室利用(やさものたまご)
	19日～ 8月31日	写真パネル展
	22日	手作り絵本教室
	24日	視聴覚室使用(子ども将棋教室)
8月	26日	視聴覚室使用(友朋書会)
	3日	工作教室
	5日	環境学習講座
	6日	視聴覚室利用(子ども将棋教室)
	10日	視聴覚室利用(フォンターナ)
	16日	新任教員研修
	16日	第3回古文書学習会
	17日	夏休み映画会「サミーとシュリー 七つの海の大冒険」
	21日	視聴覚室利用(ストーリーテリング)
	23日～28	博物館実習
9月	23日	視聴覚室利用(友朋書会)
	26日	子ども体験博物館
	27日	第1回文化教養講座
	7日	視聴覚室利用(フォンターナ)
	13日～16	博物館写真撮影
	16日～18	ロビー利用(写楽会)
	17日	視聴覚室・会議室利用(町史編さん課)
10月	20日	視聴覚室利用(友朋書会)
	23日	会議室利用(三重郡同和教育研究協議会)
	4日	視聴覚室利用(友朋書会)
	5日	第4回古文書学習会

10月	7日	本の修理講座
	11日～14日	博物館写真撮影
	12	会議室利用(三重郡校長会)
	18日～28日	特別整理期間
	29日～ 11月27日	企画展「歴史にみる自己～表現のかたち～」
11月	30日	視聴覚室利用(子ども将棋教室)
	3日	雑誌リサイクル会
	5日	企画展記念講演会
	9日	視聴覚室利用(フォンターナ)
	10日	視聴覚室利用(町民環境課)
	12日	第2回文化教養講座
	13日	視聴覚室利用(子ども将棋教室)
	15日	視聴覚室利用(友朋書会)
	16日	映画会
	20日	視聴覚室利用(ストーリーテリング)
12月	24日～27日	ロビー利用(流芳書会)
	25日	聞かせ屋。けいたろう絵本ライブ読み聞かせ講
	29日	視聴覚室利用(友朋書会)
	6日	視聴覚室利用(友朋書会)
	7日	視聴覚室利用(フォンターナ)
1月	9日	視聴覚室利用(三重郡教頭会)
	11日	視聴覚室利用(子ども将棋教室)
	13日	第5回古文書学習会
	17日	視聴覚室利用(町史編さん課)
	20日	視聴覚室利用(友朋書会)
	22日	冬休み映画会「サンタ・カンパニー」
	11日	視聴覚室利用(フォンターナ)
	10日～13日	博物館・企画展準備の為休館
	14日～ 2月12日	企画展「むかしむかしー歴史と伝説ー」
	17日	視聴覚室利用(友朋書会)
2月	21日	資料館現場説明会
	22日	展示解説会 視聴覚室利用(子ども将棋教室)
	24日～ 2月19日	朝日小学校6年生俳句作品展
	25日	視聴覚室利用(三重県博物館協会)
	27日	「藤田浩子さんおはなし会&講習会」
	29日	企画展記念講演会
	1日	視聴覚室利用(フォンターナ)
	4日	第3回文化教養講座
	5日	「かいけつゾロリ 原ゆたかさんお絵かき会&サイン会」
	6日	視聴覚室利用(友朋書会)
3月	6日	第6回古文書学習会
	10日	上映会「綾小路きみまろ 爆笑！エキサイトライ ブビデオ04」
	12日	展示解説会
	14日～17日	博物館・企画展撤収のため休館
	19日	視聴覚室利用(ストーリーテリング)
	20・21	燻蒸作業
	26日	視聴覚室利用(将棋教室)
3月	28日	会議室利用(三重郡校長会)
	1日	視聴覚室利用(フォンターナ)
	7日	運営協議会、文化財調査委員会
	8日	会議室利用(総務課)
	21日	視聴覚室利用(友朋書会)
3月	28日	視聴覚室利用(友朋書会)

V 運営協議会

(1) 運営協議会

朝日町教育文化施設運営協議会は、施設の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、運営の円滑化のための協力を行う機関として、朝日町教育文化施設の設置及び管理に関する条例第 17 条の規定に基づき、平成 28 年 4 月 1 日付けで委員 9 名（定数 12 名）を委嘱（任期 2 年）しました。

朝日町教育文化施設運営協議会委員

区 分	氏 名	備 考
歴史博物館部会	稲垣 陽子	文化財調査委員
歴史博物館部会	片山 恭輔	文化財調査委員
図書館部会	國富 朋子	朝日小学校教頭
歴史博物館部会	駒田 利治	文化財調査委員 三重県史編集委員
図書館部会	○☆ 齊藤 孝太郎	朝日中学校教頭
図書館部会	田中 みわ子	学識経験者
歴史博物館部会	◎☆ 樋口 和美	文化財調査委員
歴史博物館部会	水谷 嘉孝	文化財調査委員
図書館部会	矢野 加津子	図書館ボランティア代表

◎委員長 ○副委員長 ☆部会長

第 1 回 日時：平成 28 年 5 月 27 日（金） 13：00～15：00

- 事項：1 役員の選出について
2 平成 27 年度事業実績報告について
3 平成 28 年度事業計画について
4 祝日開館について
5 文化財購入について

第 2 回 日時：平成 29 年 3 月 7 日（火） 13：30～15：30

- 事項：1 平成 28 年度実績報告について
2 平成 29 年度事業計画案について
3 文化財購入について

VI 関係法規

○朝日町教育文化施設の設置及び管理に関する条例

平成9年6月20日

条例第12号

改正 平成12年3月17日 条例第9号

平成24年3月16日 条例第3号

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2並びに図書館法(昭和25年法律第118号)第10条及び博物館法(昭和26年法律第285号)第18条の規定に基づき、朝日町教育文化施設の設置及び管理について、必要な事項を定めるものとする。

(目的、名称及び位置)

第2条 町民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、次の施設を設置する。

名称 朝日町教育文化施設

位置 朝日町大字柿2278番地

(館の設置)

第3条 朝日町教育文化施設(以下「施設」という。)内に次の館を設置する。

- (1) 朝日町図書館 [あさひライブラリー]
- (2) 朝日町歴史博物館

(職員)

第4条 施設に必要な職員を置く。

(事業)

第5条 施設は、第2条の目的を達成するために、次の事業を行う。

2 朝日町図書館 [あさひライブラリー] (以下「図書館」という。)

- (1) 図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料(以下「図書館資料」という。)を収集、整理及び保存に關すること。
- (2) 図書館資料の貸出しに關すること。
- (3) 読書案内、読書相談及び調査研究に対する援助、図書館資料の利用のための相談に關すること。
- (4) 読書会、研究会、講演会、鑑賞会、映写会、資料展示会等の主催及び奨励に關すること。
- (5) 館報その他の読書資料の発行及び頒布に關すること。

- (6) 時事に関する情報及び参考資料の紹介並びに提供に関する事。
- (7) 他の図書館、学校その他関係機関との連絡及び協力に関する事。
- (8) その他目的を達成するために必要な事業

3 朝日町歴史博物館(以下「博物館」という。)

- (1) 朝日町の歴史等に関する実物、模型、複製、文献、写真等の資料(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、及び利用に供すること。
- (2) 博物館資料の利用者に対する説明、助言及び指導に関する事。
- (3) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究に関する事。
- (4) 博物館資料の保管、展示等に関する技術的研究に関する事。
- (5) 博物館資料に関する解説書、目録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (6) 博物館資料に関する講演会、研究会等を開催すること。
- (7) 他の博物館、学校その他関係機関との連絡及び協力に関する事。
- (8) その他目的を達成するために必要な事業

(観覧料)

第6条 博物館の常設展示会場における観覧料は、無料とする。ただし、特別な展示がある会場へ入場しようとする者は、1,000円以内で町長が定める観覧料を納付しなければならない。

(特別利用の許可等)

第7条 博物館資料、図書館貴重資料について、学術研究のために熟覧、模造、撮影等しようとする者は、あらかじめ朝日町教育委員会(以下「委員会」という。)の許可を受けなければならない。

(施設の使用等)

第8条 委員会は、第2条の目的に反せず、第5条の事業に支障のない範囲において、施設の視聴覚室、会議室、ビデオ編集室、ギャラリー(以下「視聴覚室等」という。)の使用を許可することができる。

2 前項の規定により、視聴覚室等を使用しようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

3 前項の許可を受けた者は、別表で定める使用料を納付しなければならない。

(入館等の制限)

第9条 委員会は、次の各号の一に該当すると認められるときは、施設への入館を拒否し、

若しくは退館を命じ、又は第7条及び前条第1項の許可をしない。

- (1) 公安、風俗その他公益を害するおそれがあるとき。
- (2) 博物館資料、図書館資料又は施設等を損傷するおそれがあるとき。
- (3) その他管理運営上支障があると認めたとき。

2 委員会は、前2条の許可に施設の管理運営上必要な条件を付けることができる。

(許可の取消し等)

第10条 委員会は、第7条及び第8条第2項の許可を受けた者(以下「使用者等」という。)が次の各号の一に該当すると認めたときは、許可の条件を変更し、又は使用若しくは利用を停止し、若しくは許可を取り消すことができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (3) 許可の条件に違反したとき。
- (4) その他委員会において特に必要があると認めたとき。

(権利譲渡等の禁止)

第11条 使用者等は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(特別の設備等)

第12条 使用者等は、既存の設備を変更し、又は特別の設備を使用しようとするときは、あらかじめ委員会の承認を受けなければならない。

(原状回復の義務)

第13条 使用者等は、その使用若しくは利用を終了したとき又は第10条の規定により取消し等されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

2 使用者等が前項の義務を履行しないときは、委員会においてこれを執行し、使用者等がその費用を負担しなければならない。

(損害賠償)

第14条 使用者等は、使用若しくは利用中に建物、附属設備及び資料等を損傷又は滅失したときは、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、町長が特別な理由があると認めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

(観覧料及び使用料の免除)

第15条 町長は、特に必要があると認めたときは、観覧料及び使用料を免除することができる。

(観覧料及び使用料の還付)

第16条 既納の観覧料及び使用料は、還付しない。ただし、町長が特別の事由があると認めたときは、その全部又は一部を還付することができる。

(運営協議会)

第17条 施設の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、図書館法第14条及び博物館法第20条第1項の規定に基づき、施設に朝日町教育文化施設運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、委員会が委嘱する。

3 協議会の委員の定数は、12人以内とする。

4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第18条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が別に規則で定める。

附 則

この条例は、平成9年7月1日から施行する。

ただし、第6条から第17条までの規定は、教育委員会規則で定める日から施行する。

附 則(平成12年条例第9号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成24年条例第3号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

別表(第8条関係)

(1) 施設使用料

区分	午前9時から正午まで	午後1時から午後5時まで	全日午前9時から午後5時まで
視聴覚室	1,000円	1,000円	2,000円
会議室	1,000円	1,000円	2,000円
ギャラリー	1,000円	1,000円	2,000円
ビデオ編集室	別に定める。	別に定める。	別に定める。

備考 ギャラリーについては、ワークショップギャラリー及び町民ギャラリーにおいて、

専じて展示会等に使用する場合につき使用料を徴収する。

(2) 設備器具使用料

区分	使用料(1回一式)
16ミリ映写機	500円
スライド映写機	500円
プロジェクター	1,000円

備考

- (1) 上記使用料は午前、午後の使用時間内を各1回、全日を2回として徴収する。
- (2) 上記に記載のないものについては、その都度、教育委員会が定める。

○朝日町教育文化施設の設置及び管理に関する規則

平成9年10月1日

教委規則第2号

改正 平成12年3月23日教委規則第6号

平成13年9月1日教委規則第4号

平成14年8月1日教委規則第8号

平成15年5月26日教委規則第4号

平成15年7月30日教委規則第5号

平成16年3月24日教委規則第4号

平成19年10月1日教委規則第10号

平成24年3月21日教委規則第3号

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、朝日町教育文化施設の設置及び管理に関する条例(平成9年朝日町条例第12号。以下「条例」という。)第18条の規定に基づき、条例の施行について、必要な事項を定めるものとする。

(職員)

第2条 朝日町教育文化施設(以下「施設」という。)に館長を置く。

2 館長の下に、必要に応じて、次長、主任、司書、学芸員及びその他の職員を置くことができる。

(職務)

第3条 館長は、上司の命を受け、館務をつかさどる。

2 次長は、上司の命を受け、館長を補佐し、館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

3 主任は、上司の命を受け、次長の職務を助け、担当事務を処理する。

4 司書及び学芸員は、上司の命を受け、専門的な担当事務に従事する。

5 その他の職員は、上司の命を受け、担当の業務に従事する。

(開館時間)

第4条 施設の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、朝日町教育委員会(以下「委員会」という。)が特に必要があると認めたときは、これを変更することができる。

(休館日)

第5条 施設の休館日は、次のとおりとする。ただし、委員会が特に必要があると認めたと

きは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日及び12月28日から翌年の1月4日までの日

(2) 月曜日

(3) 毎月末日、ただし、この日が土、日、月曜日の場合は、次の火曜日

(4) 特別図書整理期間及び特別展示準備期間(毎年10日以内)

(入館者の遵守事項)

第6条 入館者は入館中、次の各号に定める事項を守らなければならない。

(1) 資料の閲覧は、所定の場所で行うこと。ただし、館長が特別に認めたときは、この限りでない。

(2) 所定の場所以外で喫煙、飲食、又は火気を使用しないこと。

(3) 館内においては静粛にし、他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(4) 許可を受けずに張り紙をし、又はくぎ類を打つ等、建物その他の物品を損傷又は汚損するおそれのある行為をしないこと。

(5) その他委員会が定める事項及び係員の指示に従うこと。

(特別利用の許可の申請)

第7条 条例第7条の規定に基づき、特別利用の許可を受けようとする者は、朝日町教育文化施設資料特別利用許可申請書(様式第1号)を委員会に提出しなければならない。

(特別利用の許可)

第8条 委員会は、前条の利用許可申請について適当と認めるときは、利用の許可を決定し、朝日町教育文化施設資料特別利用許可書(様式第2号)を交付するものとする。

(使用許可の申請)

第9条 条例第8条第2項の規定により、視聴覚室等の使用の許可を受けようとする者は、朝日町教育文化施設使用許可申請書(様式第3号。以下「使用許可申請書」という。)を委員会に提出しなければならない。

2 使用許可申請書は、使用日が6カ月以後のものについては、これを受理しないものとする。

3 前項の規定にかかわらず、次の各号の一に該当する場合は、前項の期間前に受理できるものとする。

(1) 朝日町及び委員会が行う事業又は主催する行事に使用するとき。

(2) その他委員会が特に必要があると認めたとき。

(使用の許可等)

第10条 委員会は、使用許可申請書を受理した場合、その使用目的、内容等を検討し、適当と認めたときは、朝日町教育文化施設使用許可書(様式第4号。以下「使用許可書」という。)を交付するものとする。

- 2 前項の使用について許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、使用の際、使用許可書を係員に提示し、指示を受けなければならない。

(使用許可の取消し等)

第11条 使用者は使用許可の取消し又は変更の許可を受けようとするときは、朝日町教育文化施設使用取消申請書又は朝日町教育文化施設使用変更申請書(様式第5号)に、使用許可書を添えて委員会に提出しなければならない。

- 2 委員会は、前項の規定により使用の取消し又は変更を許可したときは、朝日町教育文化施設使用取消許可書又は朝日町教育文化施設使用変更許可書(様式第6号)を交付するものとする。

(使用料の納付)

第12条 使用者は、使用の許可と同時に使用料を納付しなければならない。

- 2 国又は地方公共団体その他これに類する団体が使用する場合は、前項の規定にかかわらず、別に納付期限を定めることができるものとする。

(使用料の還付)

第13条 条例第16条ただし書の規定により使用料を還付する場合及び還付の割合については、次に掲げるとおりとする。

- (1) 災害等特別の事由により、使用者の責めによらない場合において使用できなかったとき。 10割
 - (2) 使用者が、使用日の前7日前までに使用許可の取消し申請をし、許可されたとき。 5割
 - (3) 使用者が、使用変更を許可された場合において、既納使用料に過納金が生じた場合 過納金の全額
- 2 前項の還付を受けようとする者は、朝日町教育文化施設使用料還付申請書(様式第7号)に必要な書類を添えて委員会に提出しなければならない。
 - 3 委員会は、前項の申請について承認したときは、朝日町教育文化施設使用料還付決定通知書(様式第8号)を交付するものとする。

(使用者の遵守事項)

第14条 使用者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 使用を許可されていない施設を使用し、又は立ち入らないこと。
 - (2) 入館者から料金等を徴収してはならない。ただし、資料代等として委員会の許可を受けたときは、この限りでない。
 - (3) 物品を販売し、又は販売を目的とする催物を行わないこと。ただし、条例第8条に定めのない施設の使用については、委員会が朝日町教育文化施設の使用に関する要綱で許可した者が主催する催物を除く。
 - (4) 使用中における施設等の管理及び火災防止に努めること。
- (職務上の立入り)

第15条 使用者は、係員の職務上の立入りを拒むことができない。

(施設等の損傷の届出)

第16条 使用者は、施設、附属施設等を損傷又は滅失したときは、直ちに理由を付して委員会に届け出なければならない

(損害の賠償)

第17条 博物館資料、図書資料又は施設、設備を破損、汚損若しくは紛失した者は、現品又は損害相当額を弁償しなければならない。

(原状回復の確認)

第18条 使用者は、条例第13条第1項の規定により原状回復をしたときは、係員の確認を受けなければならない。

(使用料の免除)

第19条 条例第15条の規定に基づく使用料の免除の範囲は次のとおりとする。

- (1) 朝日町及び委員会が主催する事業
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条の規定による学校(以下「学校等」という。)が学校活動の場として使用する場合
- (3) その他委員会が免除することを適当と認めた場合

第2章 図書館

(館内閲覧)

第20条 館内閲覧は利用手続を必要としない。ただし、貴重資料、書庫の閲覧は係員に申し出てその指示に従わなければならない。

(利用者の資格)

第21条 館外利用できる者は、次の各号の一に掲げる者とする。

- (1) 町内に居住する者、又は三重県内に居住する者で委員会が認めた者
- (2) 町内に勤務場所を有する者
- (3) その他委員会が特に認めた者

(貸出しの手続)

第22条 資料を館外利用しようとする者は、貸出登録申込書(様式第9号)により申請し、図書カード(様式第10号)の交付を受けなければならない。

- 2 図書カードの有効期限は、交付の日から3年間とする。
- 3 資料の貸出しを受けるときは、図書カードを提示しなければならない。
- 4 貸出登録申込書の記載事項に変更を生じたとき又は図書カードを紛失したときは、速やかに届け出なければならない。
- 5 図書カードは、他人に譲渡し、若しくは貸与し、又は不正に使用してはならない。これらにより損害が生じたときは、当該図書カードを受けた者がその責任を負うものとする。

(貸出しの制限)

第23条 次の各号に掲げる資料は、館外への貸出しはしない。

- (1) 貴重資料
- (2) 郷土資料
- (3) 各種辞書及び参考資料
- (4) 視聴覚資料
- (5) その他委員会が貸出し不相当と認めた資料

(貸出資料数及び期間)

第24条 貸出し資料数は、10冊以内とする。

- 2 貸出し期間は14日以内とする。
- 3 委員会が特に必要と認めたときは、貸出し資料数及び貸出し期間を別に定めることができる。

(資料の返却)

第25条 委員会は、図書館資料を貸出し期間内に返却しなかった者に対し、一定期間図書館資料の利用を停止することができる。

- 2 図書館資料を貸出し期間を越えて引き続き利用しようとする者は、委員会の承認を受けなければならない。ただし、継続利用は返却期間から14日を限度とする。

(費用弁償)

第26条 委員会は、貸出し期間を経過し、資料返却の督促を受けた者に対し、それに要し

た費用を弁償させることができる。

(複写の申込)

第27条 資料の複写を求める者は、実費相当額を添えて申し込まなければならない。

(複写の制限)

第28条 次の各号の一に該当する場合は、委員会は複写を認めないことがある。

- (1) 著作権法(昭和45年法律第48号)に違反するおそれがあると認められるとき。
- (2) 図書館資料以外のとき。
- (3) その他委員会が複写を不相当と認めたとき。

(寄贈及び寄託)

第29条 朝日町図書館は、資料の寄贈及び寄託を受けることができる。

- 2 朝日町図書館に資料を寄贈及び寄託しようとするものは、朝日町図書館資料寄贈(寄託)申請書(様式第11号)を委員会に提出し、その承認を受けなければならない。
- 3 委員会は前項の承認をしたときは、朝日町図書館資料受領書(様式第12号)を交付するものとする。
- 4 資料の寄贈及び寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、委員会が特別な事由により必要と認めた場合は、委員会が負担する。
- 5 寄贈を受けた資料は、他の資料と同様の取扱いにより一般の利用に供することができる。
- 6 寄託された資料は、朝日町図書館の所有に属する貴重資料等と同様の取扱いをする。
- 7 委員会は、寄託資料が火災等やむを得ない理由により汚損し、破損し、又は亡失した場合には、その責めを負わない。
- 8 寄託資料の返還は、寄託者の申出により、朝日町図書館資料受領書と引換えに行うものとする。

第3章 歴史博物館

(観覧の手續)

第30条 委員会が特に必要と認めたときは、特別展示等における優待券、招待券及び前売観覧券を発行することができる。

(観覧料の免除)

第31条 条例第15条に基づく観覧料の免除の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 教育課程に基づく教育活動として、教職員に引率されて観覧する学生、生徒、児童及びその引率者
- (2) 高齢者(70歳以上)、心身障害者及びその介助者

(3) 朝日町歴史博物館が開催する博物館資料に関する講演会、講習会及び研究会に参加する者

(4) その他委員会が免除することが適当と認めた者

(特別利用の制限)

第32条 次の各号の一に該当するときは、特別利用の許可をしない。

(1) 特別利用によって博物館資料及び図書館貴重資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると委員会が認めたとき。

(2) 現に博物館資料が展示されているとき。

(3) 寄託された博物館資料及び図書館貴重資料で寄託者の同意を得ていないとき。

(4) 著作権がある博物館資料及び図書館貴重資料で著作権の承諾を得ていないとき。

(5) その他委員会が特別利用をすることが不適当と認めたとき。

(資料の貸出)

第33条 博物館資料は、貸し出すことができない。ただし、当該博物館資料が学術上の調査研究又は教育の普及のために使用され、かつ、取扱い上の安全性が確保されると認められるときは、博物館の運営に支障を来さない範囲において、次の各号に掲げる者に対して、貸し出すことができる。

(1) 博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項の規定による博物館及び同法第29条の規定による博物館に相当する施設

(2) 国及び地方公共団体

(3) 学校等

(4) その他委員会が適当と認めた者

2 前項ただし書の規定により、博物館資料の貸出しを受けようとする者は、朝日町歴史博物館資料貸出許可申請書(様式第13号)を委員会に提出し、その許可を受けなければならない。この場合において、当該博物館資料が博物館に寄託された資料であるときは、当該資料を寄託した者の承諾書を添付しなければならない。

3 委員会は、前項の許可をしたときは、朝日町歴史博物館資料貸出許可書(様式第14号)を交付するものとする。

4 借受人(第2項の許可を受けたものをいう。以下同じ)は、当該貸出しに伴う一切の費用を負担しなければならない。

5 博物館資料の貸出期間は30日以内とする。ただし、委員会が特に必要と認めたときは、1年以内の範囲で貸出しを許可することができる。

(寄贈又は寄託)

第34条 博物館に資料を寄贈又は寄託しようとする者は、朝日町歴史博物館資料寄贈(寄託)申請書(様式第15号)を委員会に提出し、その承認を受けなければならない。

- 2 委員会は、前項の承認をしたときは、朝日町歴史博物館資料受領書(様式第16号)を交付するものとする。
- 3 寄託資料は、博物館所蔵の資料と同様の取扱いをするものとする。
- 4 委員会は、寄託資料が火災等やむを得ない理由により汚損し、破損し、又は亡失した場合には、その責めを負わない。
- 5 寄託資料の返還は、寄託者の申出により、朝日町歴史博物館資料受領書と引換えに行うものとする。

第4章 運営協議会

第35条 削除

(協議会の委員長及び副委員長)

第36条 条例第17条に規定する朝日町教育文化施設運営協議会(以下「協議会」という。)に、委員長及び副委員長を置き、それぞれ委員の互選によって選出する。

- 2 委員長及び副委員長の任期は、協議会の委員(以下「委員」という。)としての在任期間とする。
- 3 委員長は、協議会の会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第37条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、館長の申出により委員長が招集し、委員長がその議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(専門部会の設置)

第38条 協議会内に次の専門部会を設置することができる。

- (1) 図書館部会
 - (2) 歴史博物館部会
- (庶務)

第39条 協議会及び専門部会の庶務は教育課において処理する。

第5章 雑則

(委任)

第40条 この規則に定めるもののほか、管理及び運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(補則)

第41条 施設の処務については、この規則に定めるもののほか、朝日町教育委員会事務局組織規則(平成8年朝日町教委規則第4号)を準用する。

附 則

この規則は、平成9年10月1日より施行する。

附 則(平成12年教委規則第6号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成13年教委規則第4号)

この規則は、平成13年9月1日から施行する。

附 則(平成14年教委規則第8号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成15年教委規則第4号)

この規則は、公布の日から施行し、平成15年4月1日から適用する。

附 則(平成15年教委規則第5号)

この規則は、平成15年9月1日から施行する。

附 則(平成16年教委規則第4号)抄

(施行期日)

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成19年教委規則第10号)

(施行期日)

1 この規則は、平成19年11月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日(以下「施行日」という。)において、この規則による改正前の朝日町教育文化施設の設置及び管理に関する規則第22条第1項の規定により図書カードの交付を受けた者については、改正後の朝日町教育文化施設の設置及び管理に関する規則第22条第2項の規定に関わらず、当該図書カードの有効期限は、施行日から平成22年11月1

日までとする。

附 則(平成24年教委規則第3号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

様式第1号(第7条関係)

朝日町教育文化施設資料特別利用許可申請書

年 月 日

朝日町教育委員会 様

(申請者)住所

団体名

氏名(代表者)



電話

次のとおり特別利用を許可して下さるよう申請します。

特 資 別 料 利 用 分 の 等	区 分	分類番号	整理番号	資 料 名	点 数	備 考
特別利用の日時		年 月 日 時から 時まで				
特別利用の目的						

※立合係員氏名	
※許可の条件	

備考 ※欄には記入しないでください。

様式第2号(第8条関係)

朝日町教育文化施設資料特別利用許可書

第 号
年 月 日

(申請者)住所

団体名

氏名(代表者) 様

電話

朝日町教育委員会 印

次のとおり特別利用を許可します。

特 資 別 料 利 区 用 分 の 等	区 分	分類番号	整理番号	資 料 名	点 数	備 考
特別利用の日時		年 月 日 時から 時まで				
特別利用の目的						
立 合 係 員 氏 名						
許 可 の 条 件						

備考 この許可書は、特別利用をする際係員に提示し、利用時間中携帯してください。

様式第3号(第9条関係)

朝日町教育文化施設使用許可申請書

年 月 日

朝日町教育委員会 様

(申請者)住所

団体名

氏名(代表者)



電話

朝日町教育文化施設の使用許可を受けたいので、次のとおり申請します。

使用目的	行 事 の 目 的		使用予定人員		
	行 事 の 内 容				
使用日時 及び 使用施設	年 月 日(曜)	使 用 施 設 名	使用時間区分		
			午 前	午 後	全 日
	・ ・ ()				
	・ ・ ()				
附属設備	16mm映写機		スライド映写機		ビデオプロジェクター
持込設備					
使 用 者	住所				
責 任 者	氏名 電話 ()				

※ 使 用 料	施設使用料	附属設備使用料	合 計	
※ 許 可 の 条 件				
※ 受 付 年 月 日	年 月 日※許可年月日 年 月 日 第 号			

備考 ※欄は記入しないでください。

様式第4号(第10条関係)

朝日町教育文化施設使用許可書

第 号
年 月 日

(申請者)住所

団体名

氏名(代表者) 様

電話

朝日町教育委員会 印

朝日町教育文化施設の使用を次のとおり許可します。

使用目的	行 事 の 目 的		使用予定人員	
	行 事 の 内 容			
使用日時 及使用施設	年 月 日(曜)	使 用 施 設 名	使用時間区分	
			午 前	午 後 全 日
	・ ・ ()			
	・ ・ ()			
附属設備	16mm映写機		スライド映写機	ビデオプロジェクター
持込設備				
使 用	住所			
責 任 者	氏名 電話 ()			

使 用 料	施設使用料	附属設備使用料	合 計	
許可の条件				

備考 1 朝日町教育文化施設の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則の規定を遵守し、係員の指示に従ってください。

2 使用後は、設備等を原状に復し係員の点検をうけてください。

様式第5号(第11条関係)

朝日町教育文化施設使用変更(取消し)許可申請書

年 月 日

朝日町教育委員会 様

(申請者)住所

団体名

氏名(代表者)



電話

朝日町教育文化施設の使用変更(取消し)の許可を受けたいので、次のとおり申請します。

施設使用許可年月日	年 月 日	施設使用許可番号	第 号
許可を受けた施設名			
使用日時			
行事の名称			
変更(取消し)理由			
変更内容			

※使用料の精算	変更	既納使用料	変更後の使用料		差引使用料
			小計	総計	
		円	円	円	円
	取消し	既納使用料	徴収金	還付金	
		円	円	円	
		徴収の理由	朝日町教育文化施設の設置及び管理に関する規則第13条第1項第 号の規定により 割を徴収します。		
※受付年月日	年 月 日	※許可年月日	年 月 日	第 号	

備考1 使用許可書を添付してください。

2 ※欄は記入しないでください。

様式第6号(第11条関係)

朝日町教育文化施設使用変更(取消し)許可書

第 号
年 月 日

(申請者)住所

団体名

氏名(代表者) 様

電話

朝日町教育委員会 印

朝日町教育文化施設の使用変更(取消し)を次のとおり許可します。

施設使用許可年月日	年 月 日	施設使用許可番号	第 号
許可を受けた施設名			
使用日時			
行事の名称			
変更(取消し)理由			
変更内容			

※使用料の精算	変 更	既納使用料	変 更 後 の 使 用 料		差引使用料
			小 計	総 計	
		円	円	円	円
	取 消 し	既 納 使 用 料	徴 収 金	還 付 金	
		円	円	円	
		徴収の理由	朝日町教育文化施設の設置及び管理に関する規則 第13条第1項第 号の規定により 割を徴収しま す。		

様式第7号(第13条関係)

朝日町教育文化施設使用料還付申請書

年 月 日

朝日町教育委員会 様

(申請者)住所

団体名

氏名(代表者)



電話

朝日町教育文化施設の使用料の還付を次のとおり請求します。

施設使用許可年月日	年 月 日	施設使用許可番号	第 号
施設使用変更(取消し)許可年月日	年 月 日	施設使用変更(取消し)許可番号	第 号
許可を受けた施設名			
使 用 日 時			
行 事 の 名 称			
還 付 請 求 の 理 由			
既 納 使 用 料	円	還 付 請 求 額	円

※ 受 付 年 月 日	年 月 日	※ 決 定 年 月 日	第 年 月 日 号
-------------	-------	-------------	-----------

備考1 使用許可書又は変更(取消し)許可書と使用料領収書を添付してください。

2 ※欄は記入しないでください。

様式第8号(第13条関係)

朝日町教育文化施設使用料還付決定通知書

第 号
年 月 日

(申請者)住所

団体名

氏名(代表者) 様

電話

朝日町教育委員会 印

年 月 日付けで申請のあった朝日町教育文化施設使用料の還付については、
次のとおり決定しました。

施設使用許可年月日	年 月 日	施設使用許可番号	第 号
施設使用変更(取消 し)許可年月日	年 月 日	施設使用変更(取消 し)許可番号	第 号
許可を受けた施設名			
使 用 日 時			
行 事 の 名 称			
還 付 請 求 の 理 由			
既 納 使 用 料	円	還 付 請 求 額	円

貸 出 登 録 申 込 書

1.一般・2.団体

登録日

利用者登録番号

★太枠の中だけ記入して下さい。(※中学生以下の方は保護者名を記入して下さい。)

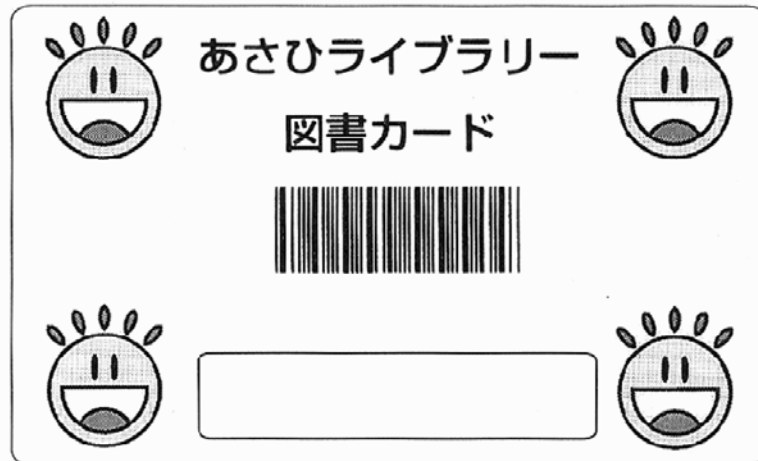
フリガナ		性 別	1. 男 2. 女	
氏 名		生年月日	明・大・昭・平	年 月 日
※保護者氏名		電話番号	自宅 ()	—
			携帯 ()	—
住 所	〒		左記の住所に 1. 在住・2. 在勤・3. その他	
自治区名	※該当する地区に○をつけて下さい。 ・縄生 ・朝日ヶ丘 ・小向 ・柿 ・山王谷 ・埋縄 ・白梅西 ・向陽台 ・白梅東 町外 ・川越 ・四日市 ・桑名 ・その他			

確認 免・保・学・電・家族・その他 ()

様式第10号(第22条関係)

図書カード

○表面



○裏面

- 本を借りるときは、かならずこのカードをお持ちください。
- カードをなくしたとき、住所・氏名・電話番号などが変わったときはすぐにご連絡ください。
- このカードは他人に貸したり、譲ったりしないでください。
- このカードは長く使用しますので大切にしてください。

このカードを拾われた方は、お手数ですが図書館までご連絡ください。

あさひライブラリー
三重郡朝日町大字柿2278
☎059(377)6111

様式第11号(第29条関係)

朝日町図書館資料寄贈(寄託)申請書

年 月 日

朝日町教育委員会 様

(申請者)住所

団体名

氏名(代表者)



電話

下記のとおり図書資料等を寄贈(寄託)したいので申します。

記

1 寄贈・寄託資料

資料名(書籍名)	著者名	出版社名	数量
備考			

2 寄託期間

年 月 日 ~ 年 月 日

様式第12号(第29条関係)

朝日町図書館資料受領書

第 号
年 月 日

(申請者)住所

団体名

氏名(代表者) 様

電話

朝日町教育委員会 印

下記のとおり資料を受領します。

記

1 寄贈・寄託資料

資料名(書籍名)	著 者 名	出 版 社 名	数 量	分 類
備 考				

2 寄託期間

年 月 日 ～ 年 月 日

様式第13号(第33条関係)

朝日町歴史博物館資料貸出許可申請書

年 月 日

朝日町教育委員会 様

(申請者)住所

団体名

氏名(代表者)



電話

次のとおり博物館資料の館外貸出を許可してくださるよう申請します。

館 博 外 物 貸 館 出 資 す 料 る	分類番号	整理番号	資 料 名	点 数	備 考
貸 出 す る 期 間		年 月 日 ～ 年 月 日			
貸 出 利 用 す る 目的					
利 用 方 法					
運 搬 方 法					
※ 許 可 の 条 件					

備考 ※欄には記入しないでください。

様式第14号(第33条関係)

朝日町歴史博物館資料貸出許可書

第 号
年 月 日

(申請者)住所

団体名

氏名(代表者) 様

電話

朝日町教育委員会 印

次のとおり博物館資料の館外貸出を許可します。

館 博 外 物 貸 館 出 資 す 料 る	分類番号	整理番号	資 料 名	点 数	備 考
貸 出 す る 期 間		年 月 日 ～ 年 月 日			
貸 出 利 用 す る 目的					
利 用 方 法					
運 搬 方 法					
立 合 係 員 氏 名					
許 可 の 条 件		1 申請の目的以外に使用しないこと。 2 資料等に損傷を与えた場合は、その損害を弁償すること。 3 資料等の写真を掲載、収録、展示等に使用する場合は、「朝日町 歴史博物館蔵」の旨明記すること。			

様式第15号(第34条関係)

朝日町歴史博物館資料寄贈(寄託)申請書

年 月 日

朝日町教育委員会 様

(申請者)住所

団体名

氏名(代表者)



電話

下記のとおり資料を寄贈(寄託)したいので申請します。

記

1 寄贈・寄託資料

資 料 名	数 量	形 状 ・ 寸 法 等
備 考		

2 寄託期間

年 月 日 ～ 年 月 日

様式第16号(第34条関係)

朝日町歴史博物館資料受領書

第 号
年 月 日

(申請者)住所

団体名

氏名(代表者) 様

電話

朝日町教育委員会 印

下記のとおり資料を受領します。

記

1 寄贈・寄託資料

資 料 名	数 量	形 状 ・ 寸 法 等
備 考		

2 寄託期間

年 月 日 ～ 年 月 日

平成 28 年度

年 報

編集・発行 朝日町教育文化施設

〒510-8103 三重県三重郡朝日町柿 2278

電 話 059-377-6111

発行年月日 平成 29 年 8 月 31 日
